

令和6年度

# 事業年報

人間を救うのは、人間だ。 Our world. Your move.

# 赤十字基本原則

(1965 年ウィーンで開催された第 20 回国際会議議決)

**人 道** 国際赤十字・赤新月運動は、戦場において差別なく負傷者に救いの手を差し伸べたいという願いから生まれ、あらゆる状況下において人間の苦痛を予防し軽減することに、国際的及び国内的に努力する。生命と健康を守り、人間を尊重することを目的とし、すべての人の相互理解、友情、協力及び恒久の平和を促進する。

**公 平** 国際赤十字・赤新月運動は、国籍、人種、宗教、社会的地位または政治上の意見によるいかなる差別をもしない。ただ苦痛の度合いにしたがって個人を救うことに努め、その場合、最も急を要する苦痛をまっさきに取り扱う。

**中 立** すべての人からいつも信頼を受けるために、国際赤十字・赤新月運動は、戦闘行為の時いずれの側にも加わることを控え、いかなる場合にも、政治的、人種的、宗教的または思想的性格の論争には参加しない。

**独 立** 国際赤十字・赤新月運動は独立した存在である。各国赤十字社・赤新月社は、その国の政府の人道的事業の補助機関であり、その国の法律にしたがうが、つねに国際赤十字・赤新月運動の諸原則にしたがって行動できるようその自主性を保たなければならない。

**奉 仕** 国際赤十字・赤新月運動は、利益を求めない自発的な救護を行う運動体である。

**単 一** いかなる国にもただ一つの赤十字社・赤新月社しかありえない。赤十字社・赤新月社は、すべての人に門戸を開き、その国の全領土にわたって人道的事業を行わなければならない。

**世界性** 国際赤十字・赤新月運動は世界に広がる運動体であり、その中においてすべての赤十字社・赤新月社は同等の地位を有するとともに、相互援助を行う同等の責任と義務を共有する。

## ご あ い さ つ

赤十字事業の推進につきましては、日頃から県民の皆様並びに赤十字奉仕団や地区・分区をはじめとする関係の皆様から多大なご支援、ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

日本赤十字社は、「人間のいのちと健康、尊厳を守る」ことを使命として、災害救護事業をはじめとして、医療事業、血液事業、社会福祉事業、ボランティア・青少年の育成など様々な活動を実施しています。

昨年は元日に発生した能登半島地震や、7月以降の大雨や台風などにより全国各地で甚大な被害が発生し、日本赤十字社では、被災地の支部を中心に本社及び全国の支部・施設が連携して、被災された方々の支援活動を実施したところです。

県内においても、8月8日に発生した日向灘を震源とする地震、8月下旬に襲来した台風第10号及び11月8日の大雨により一部地域で人的被害や住家被害等が発生し、鹿児島県支部では、関係の地区や分区と連携して被災された方々に救援物資をお届けしたところです。

近年、風水害等の自然災害が激甚化・頻発化するとともに、南海トラフ地震など大規模地震の発生が高い確率で予測される中で、鹿児島県支部では、引き続き災害救護体制の充実に努めるとともに、県民の皆様が、災害に際して命を守るために適切な行動を取ることができるよう、地域における自助・共助の力を高めるための防災教育を更に充実して参りたいと考えております。

また、本年11月13日には、本県で九州八県赤十字大会を開催する予定です。赤十字思想の普及と赤十字事業の推進につながる大会となるよう、皆様方のご協力をいただきながら準備を進めて参りたいと考えております。

病院事業につきましては、公的医療機関として地域医療の充実に貢献するため、災害時の医療救護、離島・へき地医療への取組はもとより、各診療科領域において特色ある専門的かつ高度な医療の提供に取り組むとともに、医療サービスの質的向上・効率的提供や患者サービスの向上に努めました。

血液事業につきましては、採血・供給業務を受け持つ地域血液センターとして、少子高齢社会に対応した献血者の安定的な確保と、安全な輸血用血液製剤の安定供給に努めました。

社会福祉事業につきましては、全室個室のユニット型特別養護老人ホームとして質の高いサービスを提供するとともに、入居者の安全対策・環境整備や地域との連携に努めました。

鹿児島県支部としましては、今後とも、支部、病院、血液センター、社会福祉施設が有する資源と機能を最大限に活用しながら、赤十字の特色を生かした活動を積極的に展開し、多くの県民の皆様から赤十字活動へのご理解とご協力が得られるよう努めて参りますので、関係の皆様におかれましては、変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年6月

日本赤十字社鹿児島県支部  
支部長 塩田 康一

## 目 次

1	災害救護・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
(1)	常備救護班の設置	
(2)	災害救護活動	
(3)	災害救護訓練等の実施と参加	
(4)	救援物資の備蓄・配分	
(5)	救護資機材の整備	
(6)	赤十字救護連絡所の医薬品等補充	
(7)	救急用担架の配備	
(8)	洋上での遭難者に対する救援	
(9)	臨時救護	
(10)	防災講話、非常時の炊出し訓練等の実施	
(11)	赤十字防災セミナーの実施	
(12)	死亡弔慰金の支給	
(13)	義援金の取扱い状況	
2	看護師の養成・・・・・・・・・・・・・・・・	20
(1)	日本赤十字社鹿児島県支部	
(2)	鹿児島赤十字病院	
3	救急法等の講習・・・・・・・・・・・・・・・・	21
(1)	救急法	
(2)	水上安全法	
(3)	健康生活支援講習	
(4)	幼児安全法	
(5)	救急法等指導員の在籍状況	
4	赤十字奉仕団の活動・・・・・・・・	26
(1)	赤十字奉仕団組織図	
(2)	赤十字奉仕団及び奉仕団員数	
(3)	地域赤十字奉仕団結成状況	
(4)	総会及び研修会等開催状況	
(5)	地域赤十字奉仕団研修会開催状況	
(6)	地域高齢者生活支援事業の実施	
(7)	赤十字奉仕団登録一覧表	
5	青少年赤十字の活動・・・・・・・・	31
(1)	校種別加盟状況	
(2)	加盟校の推移	
(3)	会議等の参加及び開催	
(4)	研修活動	
(5)	青少年赤十字活動推進事業	
(6)	高校協議会の活動	

(7) 青少年赤十字 100 文字作文コンクール	
(8) 機関紙の発行	
(9) その他の青少年赤十字活動	
(10) 校種別加盟校名簿	
6 国際活動	40
(1) 国際活動事業への参加	
(2) 「NHK海外たすけあい」 寄付金募集	
(3) 海外救援金の取扱い状況（鹿児島県支部受付分）	
7 広報活動	42
(1) 5 月の赤十字運動月間における広報	
(2) 各種イベント等の活用による広報	
(3) 見学誘致による広報	
(4) 刊行物による広報	
(5) 各報道機関等による広報	
8 赤十字大会	46
(1) 全国赤十字大会	
(2) 九州八県赤十字大会	
(3) 鹿児島県赤十字有功会総会	
9 会員増強運動	47
(1) 令和 6 年度会費募集状況及び過去 5 カ年間の推移	
(2) 令和 6 年度地区・分區別社資納入状況一覧表（対社資目標額比較）	
(3) 令和 6 年度地区・分區別社資納入状況一覧表（対前年度比較）	
(4) 令和 6 年度地区・分區別会員募集実績前年対比一覧表	
(5) 令和 6 年度赤十字会員増強運動功労表彰	
(6) 過去 5 カ年間の会員募集実績の推移	
(7) 令和 6 年度一般社資金額別内訳一覧表	
(8) 令和 6 年度法人社資金額別内訳一覧表	
(9) 日本赤十字社有功章等表彰受彰（章）者（社）名簿	
10 評議員会及び監査等	55
(1) 支部評議員会	
(2) 業務監査	
(3) 地区・分区関係各種会議等	
11 医療事業	57
(1) 一般医療	
(2) 医療救護活動	
(3) へき地医療	
(4) 保健衛生事業	
(5) 相談援助・地域連携	

12 血液事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 62

- (1) 供給・採血実績
- (2) 供給体制
- (3) 医薬情報活動
- (4) 鹿児島県合同輸血療法委員会への協力
- (5) 献血推進
- (6) 献血予約の推進と協力要請
- (7) 骨髄バンク事業
- (8) 献血功労者表彰

13 社会福祉事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 68

- (1) 指定介護老人福祉施設事業
- (2) 短期入所生活介護事業
- (3) 入居者へ質の高いサービスの提供
- (4) 入居者の安全対策・環境整備
- (5) ボランティアの受入れと地域との連携
- (6) 実習生の受入れ
- (7) 地域貢献活動について
- (8) 広報活動について
- (9) その他  
(参考) 令和6年度における入居者の状況

14 決算状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 75

- (1) 令和6年度一般会計歳入歳出決算書
- (2) 令和6年度医療施設特別会計歳入歳出決算書
- (3) 令和6年度社会福祉施設特別会計歳入歳出決算書

参考資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 78

- 本社及び支部組織図等
- 日本赤十字社鹿児島県支部主要役員名簿
- 日本赤十字社鹿児島県支部評議員名簿
- 日本赤十字社現勢
- 支部の現勢
- 支部の沿革

# 1 災 害 救 護

災害救護は、日本赤十字社が行う最も重要な事業の一つであり、常備救護班8班を編成し、各種救護訓練等の実施や救護資機材等の整備に努めた。

## (1) 常備救護班の設置

単位：人

	医 師	看 護 師 長	看 護 師	主 事	計
1 個 班 の 編 成	1	1	2	2	6
常 備 要 員 数	8	8	16	16	48

## (2) 災害救護活動

### ア 台風第10号による被害

県内の多くの地域で停電や断水、倒木による道路の通行止め、住家の損壊等の被害が発生した。

鹿児島県支部では、各地区・分区に情報収集等を行い、被災地の地区・分区を通じて被災者に救援物資をお届けしたほか、要請のあった地区・分区に対して救援物資を輸送・配分(補充を含む)した。

#### (ア) 被災者への配布状況

地区・分区名	毛 布	緊急セット	見舞い品セット	タオルケット	ブルーシート
屋久島町分区	8	3	3	8	3
大 島 地 区	2	1		2	1
薩摩川内市地区川内分区					3
枕 崎 市 地 区					20
喜 界 町 分 区					5
計	10 枚	4 セット	3 セット	10 枚	32 枚

#### (イ) 地区・分区への輸送・配分状況

地区・分区名	毛 布	緊急セット	タオルケット	ブルーシート
指 宿 市 地 区	10	6	20	5
枕 崎 市 地 区				120
喜 界 町 分 区				10
計	10 枚	6 セット	20 枚	135 枚



救援物資の輸送準備



物資受け渡し

## イ 線状降水帯発生に伴う豪雨被害

11月8日から線状降水帯発生に伴い、県内では特に与論町で床上・床下浸水や、がけ崩れによる道路の寸断、農地の冠水などの被害が発生した。

鹿児島県支部では、大島地区と連携し、与論町分区へ救援物資を輸送・配分（補充を含む）するとともに、同分区を通じて被災者に救援物資をお届けした。

### (ア) 被災者への配布状況

地区・分区名	毛 布	緊急セット	タオルケット	ブルーシート
与論町分区	69枚	36セット	30枚	33枚

## (3) 災害救護訓練等の実施と参加

### ア 各機関が実施する防災訓練への参加

#### (ア) 鹿児島県総合防災訓練

「大雨により地盤が緩む恐れがある中、震度6強の地震が発生した」との想定で、5月26日(日)に奄美市で実施された鹿児島県主催の訓練に参加した。

・参加者	日赤鹿児島県支部	4人
	鹿児島赤十字病院	4人
	奄美市名瀬赤十字奉仕団	16人
	赤十字アマチュア無線奉仕団	9人
	計	33人



避難所運営訓練



災害救援物資の展示

#### (イ) 多数傷病者事故対応訓練

「乗用車が商業施設の敷地内に進入して暴走し、負傷者が多数発生した」との想定で、9月9日(月)に鹿児島市消防局主催で実施された訓練に参加した。

・参加者	日赤鹿児島県支部	2人
------	----------	----

#### (ウ) 桜島火山爆発総合防災訓練（図上訓練）

「桜島の大規模爆発に対し、住民避難等の各種の災害応急対策が迅速・的確に行われるよう、関係機関相互の連携強化など災害対応能力の向上を図る」ことを目的に、10月21日(月)に鹿児島県主催で実施された訓練に参加した。

・参加者	日赤鹿児島県支部	1人
	鹿児島赤十字病院	1人
	計	2人



(エ) 鹿児島空港航空機事故対応総合訓練

「エンジントラブルのため緊急着陸した航空機の右メインギアが折損、滑走路とエンジンが接触し火災が発生し、機内に多数の負傷者が取り残されている」との想定で、10月24日(木)に鹿児島空港緊急計画連絡協議会主催で実施された訓練に参加した。

・参加者	日赤鹿児島県支部	3人
	鹿児島赤十字病院	7人
	計	10人

(オ) 第55回桜島火山爆発総合防災訓練(住民避難訓練)

「桜島の火山活動が活発化し、噴火警戒レベルが引き上げられ、桜島住民の避難が始まった」との想定で、11月16日(土)に鹿児島市主催で実施された訓練に参加した。

・参加者	日赤鹿児島県支部	1人
	鹿児島赤十字病院	1人
	計	2人



他機関との業務調整の様子

(カ) 令和6年度離島防災訓練

「トカラ列島近海を震源(規模M7.5)とする大地震により、種子島、屋久島及び十島村で大規模な被害が発生した」との想定で、11月20日(水)から21日(木)に鹿児島県主催で実施された訓練に参加した。

・参加者	日赤鹿児島県支部	2人
	鹿児島赤十字病院	4人
	計	6人



救護班要員搬送訓練



救援物資輸送訓練

(キ) 第55回桜島火山爆発総合防災訓練（避難所体験・展示訓練）

「桜島の爆発・地震等による災害発生に際して防災関係機関が相互に緊密な連携を保ちながら、各種の災害応急対策が迅速・適切に行われるよう防災体制の実効性について検証・確認を行うとともに、住民の防災意識の高揚と知識の向上を図る」ことを目的に、1月11日（土）に鹿児島市主催で実施された訓練に参加した。

・参加者	日赤鹿児島県支部	2人
	日赤鹿児島市地区	1人
	赤十字アマチュア無線奉仕団	7人
	<u>鹿児島中央赤十字奉仕団</u>	<u>20人</u>
	計	30人

(ク) 鹿児島県国民保護共同訓練（図上訓練）

「武力攻撃予測事態下における離島からの域外避難を想定した訓練を通じて、関係機関相互の連携強化、地域住民の国民保護措置への理解促進等を図る」ことを目的に、1月28日（火）に鹿児島県主催で実施された訓練に参加した。

・参加者	日赤鹿児島県支部	1人
	<u>鹿児島赤十字病院</u>	<u>1人</u>
	計	2人

イ 救護員育成に係る研修

(ア) こころのケア研修会

鹿児島県支部管内職員を対象に、被災者に対するこころのケアの実施方法並びに救護員自身のこころのケアの対処方法の習得を目的として、8月23日（金）に鹿児島赤十字病院で実施し、18人が参加した。

(イ) 日本赤十字社原子力災害時の救護研修

日本赤十字社第6ブロック（九州八県支部）管内の救護班要員等を対象に、放射線環境下での救護活動に安全かつ安心して従事できるよう、放射線や原子力災害医療体制等に係る基本的知識及び放射線防護資機材の使用方法的習得を目的として、12月7日（土）から8日（日）にかけて鹿児島県自治会館で実施され、鹿児島県支部から救護班6人及びスタッフ4人が参加した。



放射線測定器の取扱い



グループワーク

(ウ) 災害対策本部要員研修

九州各県における災害対策本部の運営に必要な知識・技術の習得及び向上を図ることを目的として、1月23日（木）から24日（金）にかけて、日本赤十字社熊本県支部で実施され、鹿児島県支部から本部要員2人が参加した。



図上訓練の様子

(エ) 全国赤十字救護班研修会

日本赤十字社第6ブロック管内の救護班要員等を対象に、知識・技術の向上や、今後発生が予測されている大規模災害における日本赤十字社の災害対応能力の強化を目的として、2月1日（土）から2日（日）にかけて福岡県久留米赤十字会館で実施され、鹿児島県支部から救護班7人とスタッフ4人が参加した。



総合演習（病院支援・避難所巡回）の様子

#### (4) 救援物資の備蓄・配分

支部倉庫及び県内 37 の地区・分区等に救援物資を備蓄し、災害発生時の被災者への迅速な配分に備えている。

##### ア 救援物資の備蓄状況

令和 7 年 3 月 31 日現在

品 名 備 蓄 先	毛 布 (枚)	緊急セット (セット)	タオルケット (枚)	見舞品セット (セット) ※	ブルーシート (枚)
支 部 倉 庫	1,396	326	2,316	0	1,871
37 常備地区	1,784	851	1,156	354	1,136
計	3,180	1,177	3,472	354	3,007

※「見舞品セット」は、製作を中止し補充無し。

##### イ 救援物資配分基準

品 名	災害区分 全焼・半焼・全壊・半壊・流失・床上浸水	
毛 布	被災者1人につき	1 枚
緊 急 セ ッ ト (タオル・携帯ラジオ・懐中電灯・風呂敷等)	被災世帯1世帯につき	1 セット
タオルケット	被災者1人につき	1 枚
ブルーシート	被災世帯1世帯につき	1 枚

(注) 世帯標準構成員は 4 人を想定 (死亡者は世帯構成員に含めない)



毛 布



緊急セット



タオルケット



ブルーシート

## ウ 救援物資常備地区及び配分区域

令和 7 年 3 月 31 日現在

常 備 地 区	配 分 区 域	常 備 地 区	配 分 区 域
鹿 児 島 市 役 所	鹿児島市	南 九 州 市 社 協	南九州市
鹿 屋 市 社 協	鹿屋市	伊 佐 市 社 協	伊佐市
枕 崎 市 社 協	枕崎市	始 良 市 社 協	始良市
阿 久 根 市 社 協	阿久根市、長島町	さ つ ま 町 社 協	さつま町
出 水 市 社 協	出水市	湧 水 町 社 協	湧水町
指 宿 市 社 協	指宿市	県大隅地域振興局	東串良町、錦江町、 南大隅町、肝付町、大崎町
西 之 表 市 社 協	西之表市	県 熊 毛 支 庁	中種子町、南種子町
垂 水 市 社 協	垂水市	県 大 島 支 庁	大和村、宇検村、龍郷町
薩摩川内市社協	薩摩川内市 (上甕町、下甕町以外)	瀬 戸 内 町 社 協	瀬戸内町
薩摩川内市社協 甕島	薩摩川内市上甕町	喜 界 町 社 協	喜界町
薩摩川内市社協 甕島(下甕駐在)	薩摩川内市下甕町	徳 之 島 町 社 協	徳之島町
日 置 市 社 協	日置市	天 城 町 社 協	天城町
曾 於 市 社 協	曾於市	伊 仙 町 社 協	伊仙町
霧 島 市 社 協 本所	国分市、隼人町、福山町 溝辺町	和 泊 町 社 協	和泊町
霧 島 市 社 協 牧園支所	牧園町、横川町、霧島町	知 名 町 社 協	知名町
いちき串木野市社協	いちき串木野市	与 論 町 社 協	与論町
南さつま市社協	南さつま市	県屋久島事務所	屋久島町
志 布 志 市 社 協	志布志市	三 島 村 出 張 所	三島村 (竹島、硫黄島、大里、片泊)
奄 美 市 社 協	奄美市	支 部 直 送	十島村

(注) 社協：社会福祉協議会



エ 支部及び常備地区における救援物資の備蓄状況

令和7年3月31日現在

	本社毛布					本社緊急セット					支部見舞品セット					(支部・本社)タオルケット					支部ブルーシート				
	繰越	補充 戻入	破損 消却	配分 分置	残数	繰越	補充 戻入	破損 消却	配分 分置	残数	繰越	補充 戻入	破損 消却	配分 分置	残数	繰越	補充 戻入	破損 消却	配分 分置	残数	繰越	補充 戻入	破損 消却	配分 分置	残数
支 部	1,627	34	34	231	1,396	476	62	62	150	326	0	14	14	0	0	2,146	422	22	230	2,316	2,116	11	11	245	1,871

※配分分置の数字は、支部から直接、被災者へ配分したものと、常備地区への分置の合計。

常備地区名	繰越	受入	返却	配分	残数	繰越	受入	返却	配分	残数	繰越	受入	返却	配分	残数	繰越	受入	返却	配分	残数	繰越	受入	返却	配分	残数
鹿児島市	60	80	32	18	90	38	19	8	5	44	15	0	0	3	12	63	30	17	12	64	44	15	10	1	48
鹿屋市	27	10	0	8	29	12	12	0	5	19	0	0	0	0	0	16	20	0	8	28	9	10	0	5	14
枕崎市	20	0	0	0	20	14	0	0	0	14	15	0	0	0	15	20	0	0	0	20	40	120	0	26	134
阿久根市	20	0	0	2	18	11	0	0	1	10	3	0	0	0	3	25	0	0	2	23	15	0	0	1	14
出水市	53	0	0	2	51	19	0	0	2	17	25	0	0	2	23	7	0	0	2	5	10	0	0	2	8
指宿市	34	10	0	8	36	21	6	0	4	23	4	0	0	0	4	37	20	0	8	49	15	5	0	4	16
西之表市	33	0	0	1	32	5	0	0	1	4	2	0	0	1	1	33	0	0	1	32	22	0	0	1	21
垂水市	39	0	0	2	37	29	0	0	1	28	19	0	0	1	18	16	0	0	2	14	20	0	0	1	19
薩摩川内市	82	0	0	7	75	40	0	0	7	33	7	0	0	0	7	65	0	0	7	58	63	0	0	8	55
薩摩川内市 (上 瓶)	20	0	0	0	20	16	0	0	0	16	5	0	0	0	5	19	0	0	0	19	34	0	0	0	34
薩摩川内市 (下 瓶)	6	0	0	0	6	17	0	0	0	17	6	0	0	0	6	21	0	0	0	21	23	0	0	0	23
日置市	20	0	0	0	20	17	0	0	0	17	8	0	0	0	8	23	0	0	0	23	17	0	0	0	17
曾於市	40	0	0	3	37	39	0	0	2	37	24	0	0	0	24	39	0	0	3	36	29	0	0	2	27
霧島市 (国分)	29	0	0	7	22	24	0	0	6	18	18	0	0	0	18	28	0	0	7	21	28	0	0	5	23
霧島市 (牧園)	15	0	0	0	15	10	0	0	0	10	4	0	0	0	4	17	0	0	0	17	11	0	0	0	11
いちき 串木野市	18	0	0	5	13	24	0	0	1	23	11	0	0	1	10	20	0	0	5	15	23	0	0	1	22
南さつま市	63	0	0	1	62	41	40	40	1	40	41	0	0	1	40	29	0	0	1	28	44	0	0	1	43
志布志市	22	0	0	2	20	15	0	0	1	14	0	0	0	0	0	18	0	0	2	16	15	0	0	1	14
奄美市	56	0	0	0	56	57	0	0	0	57	22	0	0	0	22	124	0	0	0	124	129	0	0	0	129
南九州市	9	0	0	5	4	5	0	0	3	2	1	0	0	1	0	13	0	0	5	8	7	0	0	3	4
伊佐市	40	0	0	0	40	29	0	0	0	29	0	0	0	0	0	38	0	0	0	38	25	0	0	0	25
さつま町	16	0	0	0	16	11	0	0	0	11	2	0	0	0	2	13	0	0	0	13	10	0	0	0	10
湧水町	17	0	0	0	17	17	0	0	0	17	0	0	0	0	0	16	0	0	0	16	16	0	0	0	16
始良市	47	0	0	10	37	20	0	0	5	15	2	0	0	0	2	44	0	0	10	34	26	0	0	5	21
大隅地区	80	40	0	28	92	62	12	0	12	62	60	0	0	10	50	59	50	0	28	81	60	10	0	10	60
熊本地区	106	0	0	0	106	31	0	0	0	31	25	0	1	0	24	37	0	0	0	37	27	0	0	0	27
大島地区	545	20	0	23	542	64	22	0	22	64	29	0	3	0	26	87	20	3	23	81	84	20	0	23	81
瀬戸内町	40	0	0	4	36	30	0	0	3	27	0	0	0	0	0	43	0	0	4	39	43	0	0	3	40
喜界町	14	0	0	4	10	8	0	0	1	7	0	0	0	0	0	11	0	0	4	7	9	10	0	6	13
徳之島町	45	0	0	1	44	23	0	0	1	22	0	0	0	0	0	25	0	0	1	24	26	0	0	1	25
天城町	35	0	0	0	35	28	0	0	0	28	0	0	0	0	0	25	0	0	0	25	24	0	0	0	24
伊仙町	12	0	0	0	12	11	0	0	0	11	0	0	0	0	0	10	0	0	0	10	23	0	0	0	23
和泊町	16	0	1	0	15	17	0	0	0	17	5	0	0	0	5	18	0	1	0	17	13	0	0	0	13
知名町	31	0	0	0	31	17	0	0	0	17	14	0	0	0	14	18	0	0	0	18	17	0	0	0	17
与論町	27	60	1	69	17	26	40	14	36	16	10	0	10	0	0	15	60	1	30	44	20	40	0	33	27
屋久島事務所	62	0	0	11	51	22	6	0	4	24	15	0	0	4	11	32	10	0	11	31	18	5	1	4	18
三島村	0	20	0	0	20	0	10	0	0	10	0	0	0	0	0	0	20	0	0	20	0	20	0	0	20
常備地区計	1,799	240	34	221	1,784	870	167	62	124	851	392	0	14	24	354	1,124	230	22	176	1,156	1,039	255	11	147	1,136

※「返却」欄の数字は、破損等による支部への返却数であり、支部の「補充戻入」欄に反映される。

※常備地区間の補充も「受入」欄及び「配分」欄に計上している。

## (5) 救護資機材の整備

災害発生時に円滑な救護活動が行えるよう、次の救護資機材を整備、更新した。

### ア 県支部における救護資機材の整備

- (ア)炊出し釜 1セット
- (イ)救護用台車 8台
- (ウ)救護用作業衣 23着
- (エ)海上遭難者用作業衣 20着

### イ 地区・分区の災害救援車の整備

救援物資輸送などの災害救援活動及び日常の情報収集活動等に不可欠な災害救援車を整備するため、次の2地区に補助金を交付した。

(交付先)

地区・分区名	交付額(円)
霧島市地区	600,000
志布志市地区	600,000
計	1,200,000

ウ 支部における救護資機材の整備状況

令和7年3月31日現在

救護資機材の名称	整備状況	救護資機材の名称	整備状況
超短波無線電話 全県移動システム	1 式	発電機	9
無線装備 (150MHz 帯)	基地局(固定)2 移動局 55	投光器	12
無線装備 (400MHz 帯)	基地局 1 移動局 20	炊出し用釜セット	6
無線装置 (二重免許)	携帯基地局 2 携帯局 2	医療セット	2
携帯電話	8	携帯型医療セット	1
衛星電話	可搬型 2 車載型 1	マジックギブス	3
通信機器 (ハンディ、スマートフォン、タブレット、モバイルプリンター)	各 1	アンビューバッグ	3
ポータブル電源 (モバイルバッテリー、蓄電池)	モバイルバッテリー 3 台 蓄電池 5 台	血圧計	8
カーナビゲーション	9	点滴台	10
救急車	病院 1	寝袋	36
災害救援車	3	寝袋用マット	16
災害連絡車	4	折畳式リヤカー	4
通信指令車	1	折畳式自転車	2
エアーテント	3	医療セット置き台	2
フレーム式拡張テント	3	輸液ポンプ	10
災害用テント	3	簡易型心電図モニター	1
担架	37	携帯型除細動器	1
担架架台	10	ポータブル人工呼吸器	1
浄水機	1	GPS 機能付車載無線機	1



市 町 村	旧市町村	災害救援車		天幕		プレハブ(物資)倉庫 〔大〕		炊出し用 釜セット		災害物資 保管庫 〔小〕		サーチライト			
		数量	整備年度	数量	整備年度	数量	整備年度	数量	整備年度	数量	整備年度	自動車用		公民館用	
												数量	整備年度	数量	整備年度
鹿児島市	鹿児島市	1	H20	5	S51・S54 S56・S56・H5							1	H1	44	H2
	谷山地域			2	S52・S63									16	H2
	吉田町			2	S56・H4									5	H2
	桜島町			3	S51・S62・H13			1	H12	1	H2	1	H1	3	H2
	喜入町									1	H2			7	H2
	松元町														
	郡山町			1	H1									6	H2
鹿屋市	鹿屋市	1	R5	2	S61・H5									30	H2
	輝北町			2	S56・H4			1	H13	1	S62	1	H1	6	H4
	串良町			2	S51・S62			1	H12	1	S62	1	H3	7	H4
	吾平町			2	H4・H13					1	S63	1	H1	5	H4
枕崎市		1	R1	1	H13	1	S58	1	H13						
阿久根市		1	R5					1	H13						
出水市	出水市	1	H28	1	H13			1	H12			1	H1	2	H2
	野田町							1	H16						
	高尾野町							1	H13			1	H3	3	H3
指宿市	指宿市	2	H16・R4			1	H26							1	H2
	山川町	1	H30					1	H15	1	S63			1	H2
	開聞町	1	H15							1	S63			1	H2
西之表市		1	H15					1	H13	1	H2				
垂水市				1	H13			1	H14	1	H2			6	H2
薩摩川内市	川内市			3	S51・S61・H13	1	H5	1	H15			1	H1	20	H2
	樋脇町			2	S56・H4									6	H3
	入来町	1	H19	2	S56・H2			1	H2	1	H12	1	H1	9	H3
	東郷町	1	H1	2	S56・H5			1	H15	1	S63	1	H1	6	H3
	祁答院町	1	H23	2	S59・H5			1	H15	1	S62			6	H3
	里村	1	H11	2	S55・H3					1	S63			6	H3
	上甕村	2	H14・H22	1	H3	1	R2	1	H16					8	H3
	下甕村	1	H29	2	S52・H1			1	H14	1	H11			2	H3
	鹿島村	H29.4下甕と合併								1	S63				
日置市	東市来町	1	H28	2	S54・H1			1	H15	1	S63			8	H3
	伊集院町	1	R2	3	S53・H1			1	H13	1	H10			5	H3
	日吉町	1	H26					1	H16					7	H3
	吹上町	1	H25					1	H12	1	H2				
曾於市	大隅町	1	H24	2	H1・H9			1	H13	1	S63	1	H1	8	H4
	財部町	1	H14	2	S55・H2					1	S62			5	H4
	末吉町	1	H28	1	H1			1	H14	1	S63	1	H1	14	H4
霧島市	国分市	2	H23・R6					1	H16						
	溝辺町			2	S54・H2					1	H2				
	横川町			1	H4			1	H16						
	牧園町			2	H2・H13	1	R3	1	H12	1	H1				
	霧島町							1	H13	1	S63				
	隼人町			1	S54			1	H16	1	H2				
	福山町	1	H16	1	H4					1	S63				
いちき串木野市	串木野市	1	R3	2	S61・H5			1	H14	1	H2				
	市来町	1	H10	2	S56・H4			1	H15	1	H11				
南さつま市	加世田市			1	H5	1	H24	1	H12	1	H2			1	H2
	笠沙町			1	H4			1	H14	1	S62	1	H1	5	H2
	大浦町			1	H1			1	H14	1	S62	1	H3	1	H2
	坊津町			2	S56・H5			1	H15	1	S62				
	金峰町							1	H13						

市 町 村	旧市町村	災害救援車		天幕		プレハブ(物資)倉庫 〔大〕		炊出し用 釜セット		災害物資 保管庫 〔小〕		サーチライト			
												自動車用		公民館用	
		数量	整備年度	数量	整備年度	数量	整備年度	数量	整備年度	数量	整備年度	数量	整備年度	数量	整備年度
志布志市	松山町			1	H5			1	H13	1	H2			4	H4
	志布志町	1	R6					1	H15	1	S62			3	H4
	有明町	1	H25					1	H12	1	S62			1	H4
奄 美 市	名瀬市			1	S63	1	H25	1	H15						
	住用村									1	H1				
	笠利町			2	S54・H2			1	H16	1	H1				
南九州市	頤娃町	1	H19	2	S53・H1			1	H21	1	S62			7	H2
	知覧町	1	H12	2	S54・H2			1	H12	1	H25	1	H3	8	H2
	川辺町	1	H12	2	S53・H1	1	H12			1	S62			8	H2
伊 佐 市	大口市	1	H18	3	S51・S62・H13	1	S60	1	H15	1	H2	1	H1	19	H2
	菱刈町	1	H30	2	S55・H2	1	H29			1	H2	1	H3	6	H4
始 良 市	加治木町			2	S54・H1			1	H16	1	H2				
	始良町	1	H16	2	S53・H1			1	H18	1	S63				
	蒲生町	1	H18	1	H2			1	H13	1	S63				
三 島 村		1	H3	2	S6・H5							1	H3	5	H2
十 島 村				2	S6・H5									8	H2
さつま町	宮之城町	1	H15	1	H5	1	H7								
	鶴田町	1	H12	2	S53・H1			1	H14	1	S63				
	薩摩町	1	H11	1	H4	1	H10	1	H13						
長 島 町	東町	1	H1	2	S54・61					1	S61	1	H3	11	H3
	長島町	1	H24	2	H1・H13			1	H12	1	S61	1	H1	5	H3
湧 水 町	栗野町	2	H13・H22	2	S55・H3	2	H10・R3	1	H14	1	S63				
	吉松町			1	H4			1	H14	1	S63	1	H1		
大 崎 町		1	H16	2	S55・H2			1	H14	1	S62	1	H1	1	H4
東串良町				2	S55・H2					1	S62	1	H1	3	H4
錦 江 町	大根占町	1	H14	2	S63・H13			1	H16	1	S62			9	H4
	田代町			2	S56・H5			1	H15	1	S61	1	H1	4	H4
南大隅町	根占町	1	H12	2	S55・H3			1	H14	1	S61			17	H4
	佐多町			2	S56・H5			1	H13	1	S61				
肝 付 町	内之浦町	1	H27	2	S54・H2			1	H15	1	S61				
	高山町			2	S61・H5			1	H16	1	S63				
中種子町										1	S62				
南種子町				1	H1			1	H16	1	S61	1	H1		
屋久島町	上屋久町			1	H5			2	H12	1	S62				
	屋久町	1	H28					1	H16	1	S63	1	H1		
大 和 村				2	S61・H5			1	H12					7	H4
宇 検 村				2	S55・H3			1	H16	1	S62			6	H4
瀬戸内町		1	R3	2	S53・H1			1	H14	1	S62			21	H4
龍 郷 町		2	H11・H23	1	H3	1	H25	1	H15					8	H4
喜 界 町		1	R1	1	H1			1	H16	1	S62			10	H4
徳之島町		2	H21・R2	2	S61・H5	1	H10	1	H15	1	S62	1	H1		
天 城 町		1	H27	1	H3			1	H15	1	S62				
伊 仙 町		1	H27	2	S55・H3			1	H14	1	S62			9	H4
和 泊 町		2	H29・R5	1	H4			1	H14	1	S62	1	H3	5	H4
知 名 町		1	H29	1	H2			1	H14	1	S62			6	H4
与 論 町		1	H30	2	S61・H5			1	H16	1	S62	1	H3	4	H4
鹿 児 島 北 薩														1	H3
始良・伊佐				2	S54・H2	1	H11					1	H1	1	H4
大 隅				3	S53・H1	1	H6					1	H1		
熊 毛				1	H3									1	H4
大 島				1	S62	1	R1							1	H4
屋久島事務所						1	S56								
計		63		143		20		73		71		31		459	

※整備年度欄の「S」は昭和、「H」は平成、「R」は令和

## (6) 赤十字救護連絡所の医薬品等補充

登山者等の負傷・急病への初期対応を目的として、自然公園財団高千穂河原支部(2カ所)に赤十字救護連絡所を設置し、負傷者の手当及び関係機関への通報をお願いしている。

## (7) 救急用担架の配備

不特定多数の人が集合・通過する場所で、急病人やけが人が発生した場合に、誰でも自由に使用できるよう下記の場所に救急用担架を配備している。

(配備先)

施設区分	施 設 名 等
駅	鹿児島中央駅、鹿児島駅、指宿駅、出水駅、隼人駅、吉松駅
港	鹿児島新港、西之表港、名瀬港、垂水港、宮之浦港、亀徳港、和泊港
公園等	吉野公園、平川動物公園、自然公園財団高千穂河原支部、輝北上場公園
体育館	指宿市、枕崎市、南さつま市、出水市、伊佐市、霧島市(国分、隼人)、垂水市、曾於市
運動場	県立鴨池野球場、県立鴨池陸上競技場、県総合体育センター体育館
神 社	霧島神宮、新田神社、護国神社

## (8) 洋上での遭難者に対する救援

洋上での遭難者等に救援を目的として、第十管区海上保安本部所属の巡視船に分置している救援物資の補充を行った。

海難救援物資の第十管区海上保安本部巡視船備付

令和7年3月31日現在

品 名	前年度繰越	補充数	配分・消却数	翌年度へ繰越
毛 布	140	0	17	123
作 業 服 ( 上 下 )	上 135 下 135	上 0 下 0	上 11 下 11	上 124 下 124
肌 着	137	0	12	125
日 用 品	134	0	9	125
ス リ ッ パ	136	0	10	126

## (9) 臨時救護

公的機関・団体が開催する大会、祭典、行事等に救護員や看護師などを派遣した。

	実 施 日	行 事 名	派 遣 者 (人)
1	8 月 24 日	第22回かごしま錦江湾サマーナイト大花火大会	医師 1、看護師 3、主事 2、支部 2、ボランティア 2
2	8 月 25 日	第57回全国手話通訳問題研究集会 サマーフォーラムinかごしま	看護師 1
3	10 月 20 日	鹿児島市視覚障害者一日レクリエーション	看護師 1
4	10 月 25 日	鹿児島県地域福祉推進大会	看護師 1
5	10 月 29 日	鹿児島県戦没者追悼式	看護師 2
6	10 月 31 日	第37回ふるさとを興す県地域女性連研究大会	看護師 1
7	11 月 21 日	第 44 回交通安全母の会鹿児島県大会	看護師 1
8	3 月 2 日	鹿児島マラソン2025	医師 1、看護師 3、支部 1



臨時救護（かごしま錦江湾サマーナイト大花火大会）



臨時救護（鹿児島マラソン）

## (10) 防災講話、非常時の炊出し訓練等の実施

学校、町内会等からの要請を受けて職員や奉仕団員を派遣し、防災・減災に関する講話や炊飯袋を使った炊出し訓練等を実施した。

	実 施 日	実 施 団 体	受講数 (人)	実 施 内 容
1	5 月 17 日	南さつま市立大笠中学校	13	防災講話（災害への備え） 炊出し、救急法
2	7 月 2 日	垂水市社会福祉協議会	20	防災講話（災害への備え）

3	7月12日	日置市日吉赤十字奉仕団	30	災害時避難生活支援講習
4	7月19日	志布志市志布志赤十字奉仕団	15	災害時避難生活支援講習
5	8月6日	鹿児島市山田下町内会	15	防災講話(災害への備え)、炊出し
6	8月6日	鹿児島市川上校区社会福祉協議会	30	炊出し、救急法、車椅子の使用法
7	8月9日	鹿児島県婦人会館	20	防災講話(災害への備え)、炊出し
8	10月20日	樋之口町町内会	70	炊出し、救急法
9	10月24日	上花棚町内会	20	炊出し、災害時避難生活支援講習
10	10月27日	前ヶ迫町内会	30	炊出し、救急法
11	11月1日	南種子町商工会女性部	20	防災講話(災害への備え)、炊出し、救急法
12	11月10日	恵比寿北町内会	200	炊出し、救急法
13	11月12日	荒田2丁目町内会	42	防災講話(災害への備え)、炊出し、災害時に役立つ技術
14	11月17日	阿久根市社会福祉協議会	250	炊出し、救急法
15	11月24日	田上上区町内会	50	炊出し、救急法
16	12月8日	中山校区	250	防災講話(能登半島地震活動報告)、災害時に役立つ技術
17	12月14日	小浜地区自治公民館	70	炊出し、救急法
18	2月17日	中種子町商工会議所 女性部	30	防災講話(能登半島地震活動報告)、炊出し、救急法
19	2月18日	南種子町社会福祉協議会	20	防災講話(能登半島地震活動報告)、炊出し、救急法
20	3月9日	皇徳寺西町内会	180	防災講話(災害への備え)、救急法
21	3月20日	大崎町立菱田小学校	90	炊出し、非常持ち出し品の説明

## (11) 赤十字防災セミナーの実施

過去の災害から得た教訓を踏まえ、いつ起こるか分らない災害から命を守るために必要な「自助」と「共助」の力を高めるための防災・減災教育の一環として、「赤十字防災セミナー」を下記のとおり実施した。

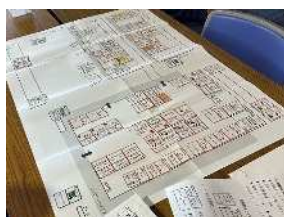
回	実施日	実施地区 (市町村)	実施団体 (対 象)	受講 者数	実施内容
1	4月7日	南九州市	上之町自治会 (地域住民)	30	家具安全対策ゲーム(KAG)
2	4月10日	鹿児島市	株渡辺組 (社員)	80	ひなんじょたいけん
3	4月23日	鹿児島市	日本赤十字社鹿児島県支部 (地区・分区担当者)	37	ひなんじょたいけん
4	4月25日	鹿児島市	株渡辺組 (社員)	80	ひなんじょたいけん
5	6月17日	大崎町	大崎町赤十字奉仕団 (奉仕団員等)	32	家具安全対策ゲーム(KAG)
6	6月23日	鹿児島市	皇徳寺台西町内会 (地域住民)	80	災害への備え
7	7月9日	志布志市	志布志市有明赤十字奉仕団 (奉仕団員等)	35	家具安全対策ゲーム(KAG)
8	7月11日	南九州市	南九州市赤十字奉仕団 (奉仕団員等)	25	家具安全対策ゲーム(KAG)
9	7月27日	肝付町	肝付町赤十字奉仕団 (奉仕団員等)	31	家具安全対策ゲーム(KAG)
10	7月29日	知名町	知名町赤十字奉仕団 (奉仕団員等)	19	家具安全対策ゲーム(KAG)
11	8月1日	鹿児島市	障害者支援施設誠光園 (職員)	20	家具安全対策ゲーム(KAG)
12	8月8日	姶良市	姶良市社会福祉協議会 (小中高生)	20	家具安全対策ゲーム(KAG)
13	8月20日	鹿児島市	生活学校運動連絡会 (生活学校会員)	10	家具安全対策ゲーム(KAG)
14	8月21日	伊佐市	伊佐市赤十字奉仕団 (奉仕団員等)	37	ひなんじょたいけん
15	9月1日	鹿児島市	田上町内会 (地域住民)	20	災害図上訓練(DIG)

16	9月3日	鹿児島市	日本赤十字社鹿児島県支部 (さつま町分区関係者)	4	家具安全対策ゲーム(KAG)
17	9月17日	日置市	日置市伊集院赤十字奉仕団 (奉仕団員等)	59	ひなんじょたいけん
18	9月26日	指宿市	指宿市指宿赤十字奉仕団 (地域住民)	52	家具安全対策ゲーム(KAG)
19	9月27日	鹿児島市	鹿児島市郡山赤十字奉仕団 (奉仕団員等)	32	家具安全対策ゲーム(KAG)
20	10月3日	鹿児島市	障害者支援施設誠光園 (職員)	20	家具安全対策ゲーム(KAG)
21	10月13日	指宿市	指宿市山川赤十字奉仕団 (奉仕団員等)	40	家具安全対策ゲーム(KAG)
22	10月15日	日置市	日置市東市来赤十字奉仕団 (奉仕団員等)	18	家具安全対策ゲーム(KAG)
23	10月18日	天城町	天城町赤十字奉仕団 (奉仕団員等)	31	家具安全対策ゲーム(KAG)
24	10月19日	徳之島町	徳之島町赤十字奉仕団 (奉仕団員等)	100	家具安全対策ゲーム(KAG)
25	10月19日	伊仙町	伊仙町赤十字奉仕団 (奉仕団員等)	30	家具安全対策ゲーム(KAG)
26	11月1日	西之表市	西之表市赤十字奉仕団 (奉仕団員等)	16	家具安全対策ゲーム(KAG)
27	11月6日	鹿児島市	鹿児島中央赤十字奉仕団 (奉仕団員等)	32	家具安全対策ゲーム(KAG)
28	11月7日	鹿児島市	日本赤十字社鹿児島県支部 (赤十字ボランティアリーダーシップ研修参加者)	13	ひなんじょたいけん
29	11月8日	鹿児島市	鹿児島市吉田赤十字奉仕団 (奉仕団員等)	19	家具安全対策ゲーム(KAG)
30	11月13日	さつま町	さつま町赤十字奉仕団 (奉仕団員等)	25	家具安全対策ゲーム(KAG)
31	11月19日	日置市	日置市吹上赤十字奉仕団 (奉仕団員等)	41	家具安全対策ゲーム(KAG)
32	11月26日	屋久島町	鹿児島県熊毛支庁 (民生委員・児童委員)	42	災害図上訓練(DIG)
33	11月30日	鹿児島市	南日本リビング新聞社「防災・減災プロジェクト」 (小学生・地域住民)	20	災害図上訓練(DIG)
34	12月1日	鹿児島市	南日本リビング新聞社「防災・減災プロジェクト」 (小学生・保護者)	40	災害図上訓練(DIG)

35	12月3日	曾 於 市	曾於市末吉赤十字奉仕団 (奉仕団員等)	58	家具安全対策ゲーム(KAG)
36	12月7日	日 置 市	日置市社会福祉協議会 (地域住民)	20	家具安全対策ゲーム(KAG)
37	12月14日	鹿児島市	鹿児島県青年赤十字奉仕団 (防災カレッジin赤十字参加者)	8	ひなんじょたいけん
38	1月18日	大 崎 町	大崎町社会福祉協議会 (地域住民)	6	家具安全対策ゲーム(KAG)
39	1月27日	薩摩川内市	薩摩川内市生活学校交流会 (研修受講者)	20	災害の備え、 家具安全対策ゲーム(KAG)
40	2月2日	大 崎 町	大崎町社会福祉協議会 (地域住民)	19	家具安全対策ゲーム(KAG)
41	2月6日	鹿児島市	日本赤十字社鹿児島県支部 (鹿屋市高齢者クラブ連合会会員)	22	家具安全対策ゲーム(KAG)
42	2月15日	志布志市	志布志市社会福祉協議会 (小学生・保護者)	50	家具安全対策ゲーム(KAG)
43	3月9日	鹿児島市	牟礼岡町内会 (地域住民)	20	災害の備え、 家具安全対策ゲーム(KAG)
44	3月15日	志布志市	志布志市社会福祉協議会 (社会福祉士)	20	災害の備え
45	3月23日	大 崎 町	大崎町社会福祉協議会 (地域住民)	20	家具安全対策ゲーム(KAG)
46	3月23日	大 崎 町	大崎町社会福祉協議会 (地域住民)	40	家具安全対策ゲーム(KAG)
46回				1,493	

【防災セミナー カリキュラム一覧】

- ・災害エスノグラフィー:大規模災害での被災者の経験談を通じて災害を迫体験することで、被災の具体的なイメージを理解する。
- ・災害図上訓練(DIG):地域の防災マップの作成を通じて、防災上の資源や危険箇所等を把握・理解し、個人や地域での防災対策の実施につなげる。
- ・災害への備え:災害・防災についての考え方や地震・大雨災害など災害別の想定被害等から、平時の備えの重要性を理解する。
- ・家具安全対策ゲーム(KAG):自宅(部屋)の平面図を描くゲームを通じて、地震で起こる被害や家具の安全対策の必要性を把握・理解し、身の安全を守る方法について行うべきことを検討する。
- ・ひなんじょたいけん:大地震における避難所生活の一部をイメージした「避難所をつくるカードゲーム」を通じて、避難所での「避難者の目線で心がける事柄」を理解する。





## (12) 死亡弔慰金の支給

自然災害（地震、台風、高潮、洪水等）及び火災により亡くなられた方の遺族に対し、死亡弔慰金（死亡者1人につき2万円）を支給した。

地 区 ・ 分 区 名	支給月	件数	支給額(円)
枕崎市地区	5 月	1	20,000
南九州市地区川辺分区	7 月	2	40,000
薩摩川内市地区東郷分区	9 月	1	20,000
日置市地区伊集院分区	12月	1	20,000
志布志市地区	2 月	1	20,000
南大隅町分区	2 月	1	20,000
伊佐市地区	2 月	1	20,000
鹿児島市地区	2 月	2	40,000
鹿児島市地区	3 月	1	20,000
計		11	220,000

## (13) 義援金の取扱い状況

国内で発生した災害の被災者を救援するための義援金を募集し、多くの県民の方々から温かい善意をお寄せいただいた。

◇義援金取扱い状況（鹿児島県支部受付分）

（令和7年3月31日現在）

義援金の名称（受付期間）	件数	金額（円）
令和6年能登半島地震災害義援金 （令和6年1月4日～令和7年12月26日）	378 (1,077)	25,784,809 (235,653,298)
令和6年7月25日からの大雨災害義援金 （令和6年8月1日～令和7年3月31日）	48	872,629
令和6年9月能登半島大雨災害義援金 （令和6年9月25日～令和7年12月26日）	140	5,888,902
令和6年沖縄県北部豪雨災害義援金 （令和6年12月18日～令和7年3月31日）	12	43,880
令和7年大船渡市赤崎町林野火災義援金 （令和7年3月6日～令和7年6月30日）	37	2,830,023
合 計	615 (1,314)	35,420,243 (245,288,732)

※件数及び金額の（）は、受付期間中の累計。

## 2 看護師の養成

鹿児島県支部及び鹿児島赤十字病院では、優秀な看護学生の就学を支援するために、日本赤十字九州国際看護大学の看護学生を対象とした奨学金制度を設けている。

令和6年度は、下記のとおり奨学金を貸与した。

### (1) 日本赤十字社鹿児島県支部

看護学生2人（1年生、3年生：各1人）に年額90万円を貸与

※支部長の推薦を受けて入学した看護学生が対象

### (2) 鹿児島赤十字病院

看護学生1人（3年生：1人）に年額70万円を貸与



日本赤十字九州国際看護大学



授業の様子

### 3 救急法等の講習

県民の方々に人命を救う方法や健康で安全に暮らすための知識や技術を伝える救急法、水上安全法、幼児安全法及び健康生活支援講習を次のとおり実施した。

各種講習の開催状況

講習種別		実施回数	受講者(人)
救急法	基礎講習	20	503
	救急員養成講習	9	203
	短期講習	137	9,998
	計	166	10,704
水上安全法	救助員養成講習Ⅰ	0	0
	救助員養成講習Ⅱ	1	5
	短期講習	10	290
	計	11	295
健康生活支援講習	支援員養成講習	2	35
	短期講習	14	449
	計	16	484
幼児安全法	支援員養成講習	5	98
	短期講習	83	1,611
	計	88	1,709
合計		281	13,192

## (1) 救 急 法

日常生活における事故防止や手当の基本、心肺蘇生、A E D (自動体外式除細動器)を用いた電気ショック、止血の仕方、搬送、災害時の心得等についての知識と技術を学ぶ講習。

### ア 基礎講習

実 施 日	対 象	主 催	受講者 (人)
4 月 6 日	一 般	日本赤十字社鹿児島県支部	15
6 月 19 日	職 域	鹿児島県警察学校	36
7 月 5 日	学 生	鳳凰高等学校	22
7 月 23 日	一 般	日本赤十字社鹿児島県支部	18
8 月 1 日	学 生	鹿児島城西高等学校	20
8 月 8 日	職 域	鹿児島県社会福祉協議会	45
9 月 20 日	職 域	鹿児島県社会福祉協議会	47
9 月 24 日	学 生	加世田常潤高等学校	11
9 月 29 日	職 域	株式会社ユトリ	48
10 月 12 日	一 般	日本赤十字社鹿児島県支部	7
10 月 22 日	学 生	薩摩中央高等学校	11
11 月 12 日	学 生	鳳凰高等学校	15
11 月 20 日	職 域	鹿児島県警察学校	35
11 月 27 日	学 生	鹿児島医療福祉専門学校	42
1 月 21 日	学 生	国分中央高等学校	36
2 月 8 日	一 般	日本赤十字社鹿児島県支部	13
2 月 12 日	学 生	志學館大学	20
3 月 4 日	学 生	神村学園専修学校	50
3 月 21 日	一 般	屋久島環境文化財団	7
3 月 28 日	職 域	N P O 法人しののめフリースクール	5
合 計 20 回			503

## イ 救急員養成講習

実 施 日	対 象	主 催	受講者 (人)
6 月 19 日～21 日	職 域	鹿児島県警察学校	36
7 月 24 日～26 日	一 般	日本赤十字社鹿児島県支部	16
8 月 2 日～6 日	学 生	鹿児島城西高等学校	20
10 月 13 日～20 日	一 般	日本赤十字社鹿児島県支部	12
11 月 13 日～15 日	学 生	鳳凰高等学校	14
11 月 20 日～22 日	職 域	鹿児島県警察学校	35
1 月 22 日～24 日	学 生	国分中央高等学校	35
2 月 9 日～16 日	一 般	日本赤十字社鹿児島県支部	15
2 月 13 日～14 日	学 生	志學館大学	20
合計 9 回			203

## ウ 「World First Aid Day 2024」

国際赤十字・赤新月社連盟は、9月の第2土曜日を「World First Aid Day」と定めて救急法等の普及を世界各地で行っており、鹿児島県支部もこれに合わせて9月8日（日）に鹿児島市の商業施設(オプシアミスミ)で応急手当に関するパネル展示や体験ブースのイベントを開催し、136人の参加があった。



## エ 短期講習

県下各地域で 137 回実施し、9,998 人の受講者があった。





## (2) 水上安全法

水と親しみ、水の事故から人命を守るため、泳ぎの基本と自己保全、事故防止、溺れた人の救助、応急手当の方法などの知識と技術を学ぶ講習。

### ア 救助員Ⅱ養成講習

実 施 日	対象者	主 催	受講者(人)
6 月 1 日～8 日	一 般	日本赤十字社鹿児島県支部	5

### イ 短期講習

県下各地域で 10 回実施し、290 人の受講者があった。



## (3) 健康生活支援講習

誰もが迎える高齢期を健やかに生きるために必要な健康増進の知識や、高齢者の支援・自立に向けた生活の仕方や工夫を学ぶ講習。

### ア 支援員養成講習

実 施 日	対象者	主 催	受講者(人)
5 月 30 日～31 日	学 生	薩摩中央高等学校	30
11 月 9 日～10 日	一 般	日本赤十字社鹿児島県支部	5
合計 2 回			35

### イ 短期講習

県下各地域で 14 回実施し、449 人の受講者があった。



#### (4) 幼児安全法

子どもを大切に育てるために、乳・幼児期に起こりやすい事故の予防とその手当、かかりやすい病気の症状に対する手当などの知識と技術を学ぶ講習。

##### ア 支援員養成講習

実施日	対象者	主 催	受講者(人)
7月27日～28日	一 般	日本赤十字社鹿児島県支部	17
9月3日～4日	学 生	鹿児島キャリアデザイン専門学校	23
10月26日～27日	一 般	日本赤十字社鹿児島県支部	12
2月3日～17日	学 生	鳳凰高等学校	16
3月12日～13日	学 生	鹿児島女子短期大学	30
合計 5 回			98

##### イ 短期講習会

県下各地域で83回開催し、1,611人の受講者があった。



#### (5) 救急法等指導員の在籍状況

令和7年3月31日現在

区 分	支部職員(人)	施設職員(人)	ボランティア(人)	計(人)
救 急 法	8	23	80	111
水 上 安 全 法	2	7	29	38
健康生活支援講習	3	13	15	31
幼 児 安 全 法	2	9	25	36

## 4 赤十字奉仕団の活動

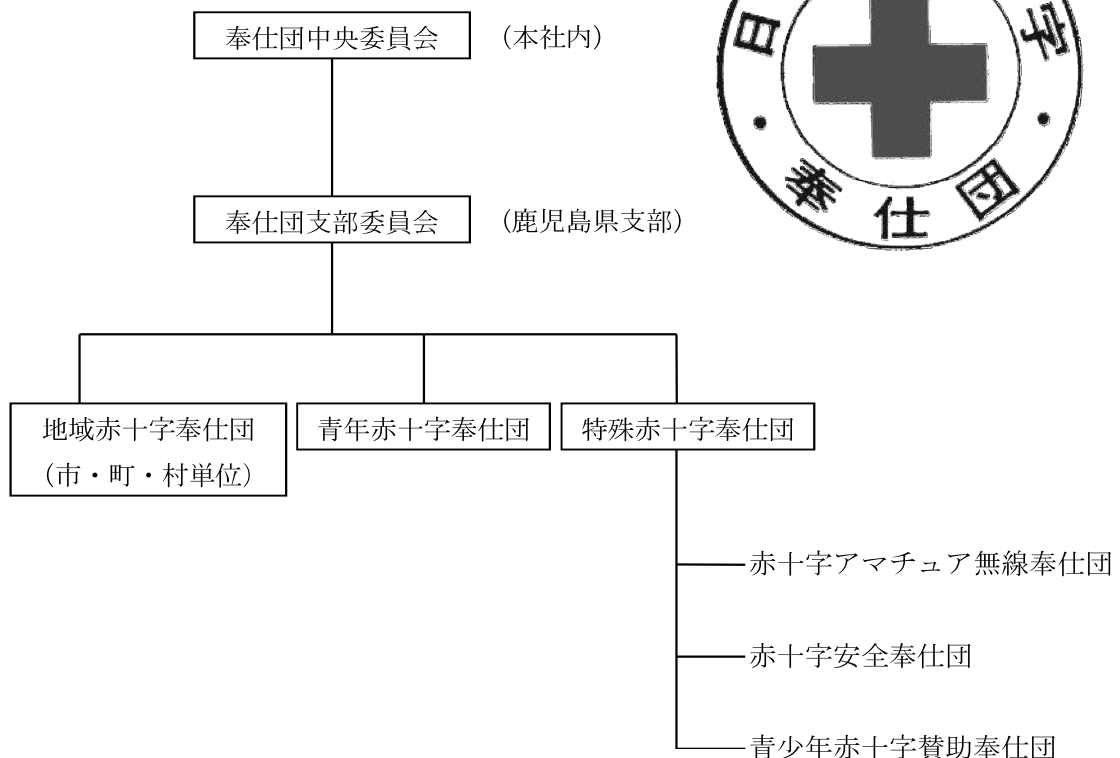
赤十字奉仕団は、赤十字の人道・博愛の精神のもとに、赤十字の使命とする人道的な諸活動を実践しようとする人々が集まって結成されたボランティアの組織である。

赤十字奉仕団は、明るく住みよい地域社会を築きあげていくために地域ごとに結成されている地域赤十字奉仕団と、勤労青年や学生によって結成されている青年赤十字奉仕団、及びアマチュア無線など特殊な技術を持った人達で結成されている特殊赤十字奉仕団からなっている。

### 赤十字奉仕団員の信条

一、すべての人びとのしあわせをねがい、  
陰の力となって人びとに奉仕する。  
一、常にくふうして人びとのために、  
よりよい奉仕ができるよう努める。  
一、身近な奉仕をひろげ、  
すべての人びとと手をつないで、  
世界の平和につくす。

### (1) 赤十字奉仕団組織図





## (2) 赤十字奉仕団及び奉仕団員数

令和7年3月31日現在

区 分		団数	団 員 数		
			男 (人)	女 (人)	計 (人)
地 域 赤 十 字 奉 仕 団		56	185	10,737	10,922
青 年 赤 十 字 奉 仕 団		1	3	8	11
特殊奉仕団	赤十字アマチュア無線奉仕団	1	279	8	287
	赤 十 字 安 全 奉 仕 団	1	82	54	136
	青 少 年 赤 十 字 賛 助 奉 仕 団	1	46	8	54
計		60	595	10,815	11,410

## (3) 地域赤十字奉仕団結成状況

令和7年3月31日現在

区 分	市町村数 (A)	奉仕団結成地域 (B)	奉仕団数	結 成 率 (B/A) (%)
市	19	16	39	84.2
町・村	24	17	17	70.8
計	43	33	56	76.7

## (4) 総会及び研修会等開催状況

行 事 名	開 催 日	参加者(人)	会 場	主 催
赤 十 字 安 全 奉 仕 団 総 会	4月20日	60	赤十字会館 (オンライン併用)	安全奉仕団
青 年 赤 十 字 奉 仕 団 総 会	4月21日	2	赤十字会館	青年奉仕団
赤 十 字 奉 仕 団 鹿 児 島 県 支 部 委 員 会	5月9日	13	県婦人会館	支部委員会 支 部
青少年赤十字賛助奉仕団総会	5月18日	16	赤十字会館	賛助奉仕団
赤 十 字 奉 仕 団 委 員 長 会 議	6月12日	46	県婦人会館	支 部
赤 十 字 ボ ラ ン テ ィ ア リ ー ダ ー シ ッ プ 研 修	11月7日	13	赤十字会館	支 部
九 州 ブ ロ ッ ク 赤 十 字 奉 仕 団 委 員 長 会 議	1月21日	2	オンライン会議	佐賀県支部

## (5) 地域赤十字奉仕団研修会開催状況

赤十字に関する知識や奉仕団活動に必要な技術の習得及び奉仕団員の意識高揚を図ることを目的に、次の22奉仕団で研修会を実施した。

奉 仕 団 名	開 催 日	参加数(人)	会 場
大 崎 町	6月17日	32	大崎町老人福祉センター
志布志市有明	7月9日	35	川西地区公民館
南 九 州 市	7月11日	25	南九州市知覧老人福祉センター
日 置 市 日 吉	7月12日	20	日吉老人福祉センター
志布志市志布志	7月19日	21	志布志市健康ふれあいプラザ
肝 付 町	7月27日	31	内之浦銀河アリーナ
和 泊 町	7月28日	40	和泊町社会福祉協議会
知 名 町	7月29日	19	知名町社会福祉協議会
伊 佐 市	8月21日	37	大口元気こころ館
日置市伊集院	9月17日	59	日置市中央公民館
指 宿 市 指 宿	9月26日	52	指宿老人福祉センター
鹿 児 島 市 郡 山	9月27日	32	郡山中央構造改善センター
日置市東市来	10月15日	18	下野建設文化ホール
天 城 町	10月18日	31	天城町防災センター
徳 之 島 町	10月19日	100	徳之島町地域福祉センター
伊 仙 町	10月19日	30	ほーらい館
西 之 表 市	11月1日	16	西之表市老人福祉センター
鹿 児 島 中 央	11月6日	32	鹿児島市教育総合センター
鹿 児 島 市 吉 田	11月8日	19	本名コミュニティセンター
さ つ ま 町	11月13日	25	佐志交流館
日置市吹上	11月19日	41	伊作地区公民館
曾 於 市 末 吉	12月3日	58	そお生きいき健康センター

## (6) 地域高齢者生活支援事業の実施

高齢者世帯を訪問し、声掛けや買物・清掃援助等の生活支援活動を実施した次の24の地域奉仕団に対し、1団当たり3万円の活動費助成を行った。

- |           |            |             |         |
|-----------|------------|-------------|---------|
| ・ 鹿児島市吉田  | ・ 鹿児島市郡山   | ・ 鹿児島市城山きずな | ・ 指宿市指宿 |
| ・ 薩摩川内市川内 | ・ 薩摩川内市祁答院 | ・ 日置市伊集院    | ・ 日置市吹上 |
| ・ 霧島市国分   | ・ 霧島市隼人    | ・ 霧島市牧園     | ・ 南さつま市 |
| ・ 志布志市志布志 | ・ 志布志市有明   | ・ 奄美市住用     | ・ 姶良市姶良 |
| ・ 姶良市加治木  | ・ 姶良市蒲生    | ・ さつま町      | ・ 屋久島町  |
| ・ 徳之島町    | ・ 伊仙町      | ・ 和泊町       | ・ 知名町   |



# (7) 赤十字奉仕団登録一覧表

令和7年3月31日現在


奉仕団名	結成年月日	団員数（人）			奉仕団名	結成年月日	団員数（人）		
		男	女	合計			男	女	合計
鹿児島中央	S41.4.1	0	201	201	南九州市川辺	S24.12.1	0	37	37
鹿児島市吉田	S24.12.1	0	20	20	伊佐市	H2.10.5	50	97	147
鹿児島市郡山	S24.12.1	0	30	30	姶良市姶良	S30.4.1	0	21	21
鹿児島市城山きずな	R2.4.1	0	6	6	姶良市加治木	R2.4.1	0	70	70
鹿屋市	S24.12.1	0	60	60	姶良市蒲生	S24.12.1	0	69	69
出水市	H10.3.19	4	72	76	さつま町	S24.12.1	0	17	17
指宿市指宿	S24.12.1	0	20	20	大崎町	S56.4.1	0	32	32
指宿市山川	S24.12.1	0	40	40	錦江町※	S24.12.1			
西之表市	S24.12.1	0	29	29	南大隅町	S24.12.1	0	135	135
薩摩川内市川内	H3.4.17	0	154	154	肝付町	S24.12.1	0	85	85
薩摩川内市樋脇	S24.12.1	0	30	30	南種子町	S52.4.1	0	413	413
薩摩川内市入来	S56.4.1	0	40	40	屋久島町	S24.12.1	0	45	45
薩摩川内市東郷	S24.12.1	10	50	60	宇検村	H5.7.1	0	82	82
薩摩川内市那答院	S24.12.1	0	75	75	瀬戸内町	S62.4.28	0	330	330
薩摩川内市下甕	H28.4.1	10	32	42	龍郷町	S62.5.10	0	630	630
日置市東市来	S24.12.1	1	9	10	喜界町	H2.5.17	0	580	580
日置市伊集院	S24.12.1	0	10	10	徳之島町	H元.4.1	0	700	700
日置市日吉	S24.12.1	0	103	103	天城町	H元.4.1	0	680	680
日置市吹上	S56.4.1	0	210	210	伊仙町	H元.7.1	0	150	150
曽於市大隅	S30.4.1	15	90	105	和泊町	S59.8.15	0	250	250
曽於市財部	S38.4.1	27	62	89	知名町	S62.6.1	10	15	25
曽於市末吉	S52.4.1	54	244	298	与論町※	S62.5.1			
霧島市国分	S24.12.1	0	362	362	地域奉仕団 計56団		185	10,737	10,922
霧島市牧園	S24.12.1	4	127	131					
霧島市霧島	S24.12.1	0	21	21	青年	S30.4.1	3	8	11
霧島市隼人	S24.12.1	0	343	343	青年奉仕団 計1団		3	8	11
いちき串木野市	S24.12.1	0	2,749	2,749					
南さつま市	S24.12.1	0	204	204	安全	S54.2.17	82	54	136
志布志市志布志	S56.4.1	0	40	40	アマチュア無線	S50.4.1	279	8	287
志布志市有明	S24.12.1	0	45	45	賛助	H14.11.13	46	8	54
奄美市名瀬	S60.9.1	0	200	200	特殊奉仕団 計3団		407	70	477
奄美市住用	H元.7.1	0	103	103	総計 60団		595	10,815	11,410
奄美市笠利	S62.9.1	0	460	460					
南九州市頤娃	S24.12.1	0	58	58	※錦江町・与論地域赤十字奉仕団は活動休止				

## 5 青少年赤十字の活動

赤十字は、未来を担う子どもたちが、世界の平和と人類の福祉に貢献できるよう、優しさや思いやりの心を育むために、学校教育現場において青少年赤十字活動を推進しており、活動の充実のために、児童・生徒対象の研修会や、各学校・園の指導者向けの講習会を行った。

ち  
か  
い

わたくしは  
青少年赤十字の一員として  
心身を強健にし  
人のためと郷土社会のため  
国家と世界のために  
つくすことをちかいます



実践目標

健康・安全  
奉仕  
国際理解・親善

態度目標

気づき  
考え  
実行する

### (1) 校種別加盟状況

令和7年3月31日現在

区 分	加盟学校(園)	メンバー(人)	鹿児島県内の設置状況等	
			学校(園)	児童生徒(人)
幼稚園	11	1,017	90	5,078
保育園	26	1,270	—	—
認定こども園	16	1,533	272	17,276
小学校	246	42,990	465	83,912
中学校	98	19,238	206	45,100
義務教育学校	7	780	17	1,433
高等学校	20	11,753	90	56,259
特別支援学校	3	405	16	2,842
合 計	427	78,986	1,156	211,900

※鹿児島県内の学校(園)数、児童生徒数(保育園を除く)は令和6年4月6日現在。

(休校中の学校は除く。令和6年度「鹿児島県の教育行政」より)

県内の保育園の園数・園児数については統計資料なし。

## (2) 加盟校の推移

年 度	区 分	幼・保・こ	小学校	中学校	義務教育	高校	特別支援	小～特 小計	合計
令和6年	学校（園）数	53	246	98	7	20	3	374	427
	県加盟校率	－	52.9	47.6	41.2	22.2	18.8	47.1	－
	メンバー数	3,820	42,990	19,238	780	11,753	405	75,166	78,986
	県メンバー率	－	51.2	42.7	54.4	20.9	14.3	39.7	－
令和5年	学校（園）数	58	258	103	6	21	3	391	449
	県加盟校率	－	53.4	48.1	60.0	23.6	17.6	48.1	－
	メンバー数	4,218	45,145	20,737	792	11,654	384	78,712	82,930
	県メンバー率	－	52.5	45.8	56.8	28.6	14.2	44.7	－
令和4年	学校（園）数	60	269	109	6	23	3	410	470
	県加盟校率	－	55.1	50.5	66.7	25.8	17.6	50.1	－
	メンバー数	4,519	47,192	21,818	583	11,702	397	81,692	86,211
	県メンバー率	－	53.8	48.0	60.0	28.4	14.9	45.9	－

## (3) 会議等の参加及び開催

	行 事 名	開 催 日	会 場	参 加 者
本社	青少年赤十字支部担当者研修会 (オンライン会議)	4月9日	赤十字会館	JRC 担当
	青少年赤十字全国指導者協議会 総会	7月12日	本 社	会 長
	全国青少年赤十字賛助奉仕団 総会役員会	7月11日・12日	本 社	委員長
九州	青少年赤十字指導者協議会 会長・担当者会議(オンライン会議)	2月19日	赤十字会館	会 長 JRC 担当
支部	青少年赤十字指導者協議会総会 ・研修会	5月18日	赤十字会館	47 人

#### (4) 研修活動

	行 事 名	開 催 日	会 場	参加者等 (人)
本社	青少年赤十字 L・T・C 指導者養成講習会	5月31日～6月2日	国立 オリンピックセンター	指導者 1
	青少年赤十字中央講習会	11月4日	日本赤十字社 本社	指導者 1
	指導主事対象青少年赤十字研究会	1月10日	日本赤十字社 本社	指導主事 1
	青少年赤十字スタディー・センター	3月22日～26日	山中湖村 東照館	高校生 1
九州	九州ブロック青少年赤十字 指導者養成講習会	8月19日～20日	長崎県	指導者 1
支部	校長・教頭・指導主事等対象 青少年赤十字研修会	6月22日	赤十字会館	11
	青少年赤十字指導者講習会	6月22日	赤十字会館	10
	離島(沖永良部島)一日 L・T・C	7月6日	和泊町	19
	夏季青少年赤十字 L・T・C	8月5日～7日	南薩少年 自然の家	38
	青少年赤十字高校協議会 活動打合せ会	9月29日	赤十字会館	6
	小学校一日 L・T・C	11月16日	赤十字会館	中止
	中学校一日 L・T・C	11月30日	赤十字会館	24
	青少年赤十字高校協議会 春季総会	3月2日	赤十字会館	中止

※L・T・C = リーダーシップ・トレーニング・センター



夏季青少年赤十字 L・T・C



青少年赤十字指導者講習会

## (5) 青少年赤十字活動推進事業

青少年赤十字の実践・態度目標に沿った園児・児童・生徒の主体的な活動に必要なとする経費を助成し、青少年赤十字活動の充実・活性化の推進に資することを目的に、令和6年度から実施している。

- ・加盟校(園)から4校(園)程度に、50,000円を上限として助成する。
- ・活動成果はJRC機関紙に掲載、研修会・講習会等で報告する。

＜令和6年度推進校(園)＞ 武幼稚園、すみれ子ども園、亀徳小学校、桜島中学校

推進校(園)名	活 動 内 容
武幼稚園 (鹿児島市)	<b>テーマ「気づき・考え・実行する子どもの育成」</b> ○ 一人一鉢栽培 ○ 上級生と下級生による異年齢活動 ○ 地区文化祭を通しての地域との交流
すみれ子ども園 (屋久島町)	<b>テーマ「地域の活性化、交流を通して育ち愛」</b> ○ 月に一度の神社清掃による奉仕活動 ○ 地域の方との交流 ・おじいちゃん、おばあちゃんへのメッセージ ・夏祭りやマルシェの開催
亀徳小学校 (徳之島町)	<b>テーマ「小学校と地域で取り組む防災減災学習・活動」</b> ○ 年間を通し全校で取り組む防災学習 ・ちょこっと防災タイム ・避難訓練 など ○ JRC 環境委員会の活動 ・防災新聞発行 ・募金活動 など
桜島中学校 (鹿児島市)	<b>テーマ「わたしたちにできる JRC 活動」</b> ○ 生徒が主体的に取り組む「朝のボランティア活動」「地域清掃活動」 ○ 高齢者福祉施設訪問 ○ 「健康教育の推進」、「安全指導」、「食育」の充実

## (6) 高校協議会の活動

ア 月例会の開催(月1回)

新型コロナウイルス感染症流行期以降、活動を休止している。

イ 特別養護老人ホーム「錦江園」の訪問

新型コロナウイルス感染症流行期以降、活動を休止している。

ウ 献血ルームでのボランティアや募金活動

献血ルームでの献血の呼びかけや募金活動に参加している。



## (7) 青少年赤十字 100 文字作文コンクール

加盟校の児童・生徒を対象に、毎年 100 文字作文コンクールを実施している。

※ 令和 6 年度作品応募 101 校 8,344 点

## (8) 機関紙の発行

- ・ 青少年赤十字機関紙「ふれあいの窓（第 42 号）」 2,000 部
- ・ 青少年赤十字賛助奉仕団会報「さくらじま（第 14 号）」 850 部

## (9) その他の青少年赤十字活動

ア NHK 海外たすけあい街頭募金への参加

毎年 12 月に県内各地において、海外たすけあい募金活動を行っている。

イ 病気見舞カードの作成

病院に入院されている人々に病気お見舞いカードを送付している。

ウ 使用済み切手・書損じはがきの回収

取扱団体が換金し、アジア、アフリカの医療に恵まれない人々の保健医療の面でのサポートの資金として活用される。

エ ペットボトル・キャップの回収

取扱団体が換金し、予防接種を受けられない発展途上国の子どもたちのワクチン代等として活用される。

オ 1 円玉募金の実施

2 カ国（ネパール、バヌアツ）に対し、子どもたちが衛生的な行動を身につける知識と技術の普及や、学校における災害リスクの軽減や防災の正しい知識を得る環境整備を目的とした支援を実施している。

カ プルタブの回収

学校で集めたプルタブをリサイクル業者で換金後、1 円玉募金として本社に送金している。

## (10) 校種別加盟校名簿

ア 保育園・幼稚園・認定こども園

令和7年3月31日現在

市 町 村	保 育 園	幼 稚 園	認 定 こ ど も 園
鹿 児 島 市	真砂、武 ほびあこども、柳田 南林寺、玉里、西紫原 清水、あたご、下伊敷 田上、鴨池、薬師 吉野、松原、なぎさ	太陽の子、鴨池しらうめ 鹿児島、武 鹿女短附属かもめ 鹿女短附属すみれ	玉里善き牧者、清谿 谷山善き牧者、若葉 辻ヶ丘、桜ヶ丘中央
鹿 屋 市			信愛こどもの園
指 宿 市		指宿	
垂 水 市		江ノ島	
薩摩川内市	高城、大村、隈之城 青山、勝目、あさひ	ひわき、かのこ	青山、善福寺、びぼあ
日 置 市	あづま		
曾 於 市			大隅中央
始 良 市	川野		
霧 島 市			あおば
南さつま市		加世田しらうめ	
南九州市			顥娃
さ つ ま 町			
肝 付 町			おおぞら、あけぼの
屋 久 島 町			すみれ
和 泊 町	わどまり		
知 名 町	しらゆり		
計	26園	11園	16園

市 町 村	小 学 校	中 学 校
鹿 児 島 市	大明丘、名山、山下、城南、原良 明和、武岡、清水、福平、武 田上、広木、中洲、中名、八幡 鴨池、南、桜丘東、宇宿 向陽、伊敷、伊敷台、花野、黒神 谷山、吉野東、坂元台、清和、平川 坂元、中郡、花尾、皇徳寺、本名 宮、本城、牟礼岡、桜洲、東桜島 前之浜、石谷、春山、南方 生見、喜入、桜峰、瀬々串、西田 西紫原、大龍、西伊敷、吉田 東谷山、星峯東	甲東、武岡 武、天保山、南、伊敷台 黒神、谷山、谷山北 吉田北、吉田南、鴨池、伊敷 桜島、郡山、桜丘、松元 吉野、星峯、喜入
鹿 屋 市	笠野原、田崎、西原、寿、祓川 串良、野里、南、輝北 上小原、細山田、大黒 鹿屋、大始良、鶴峰 高隈、東原、寿北、西俣 西原台、吾平、下名、花岡学園	鹿屋、第一鹿屋、鹿屋東 串良、上小原、吾平、輝北 花岡学園、大始良、細山田、高隈 田崎
枕 崎 市	枕崎、立神	立神
阿 久 根 市	阿久根、脇本、大川	三笠
出 水 市	出水、西出水、米ノ津東 上場、下水流、	出水、高尾野、※鶴荘学園 米ノ津
指 宿 市	今和泉、川尻	南指宿、西指宿
西 之 表 市	下西、上西、伊関、古田、◎安城	
垂 水 市	柊原、協和、牛根、松ヶ崎、新城 垂水	垂水中央
薩摩川内市	川内、隈之城、平佐東、永利、峰山 八幡、高来、樋脇、水引、育英 副田、城上、手打 入来、市比野、◎祁答院	入来、祁答院 里、海星 水引、※東郷学園 れいめい
日 置 市	湯田、美山 伊集院、土橋、永吉、◎花田	土橋、鹿児島育英館 伊集院
曾 於 市	笠木、諏訪、岩北、櫛 深川、柳迫、月野、財部南 光神、恒吉、中谷、岩南	財部
霧 島 市	国分、横川、安良、佐々木、中津川 霧島、小浜、福山、中福良 万膳、大田、国分南	国分、牧園 隼人、溝辺、横川 牧之原

市 町 村	小 学 校	中 学 校
いちき串木野市	串木野、照島、羽島、旭、生福 川上、神村学園	串木野西、生冠、市来 神村学園
南さつま市	加世田、笠沙、川畑 大浦、◎益山	加世田、万世、※金峰学園
志 布 志 市	泰野、志布志、原田、森山、田之浦 有明、松山、通山、尾野見	有明、松山、宇都
奄 美 市	朝日、赤木名、緑が丘、手花部 佐仁、節田、崎原	小宿、崎原
南 九 州 市	別府、松ヶ浦、大丸 中福良、霜出、九玉、川辺	川辺
伊 佐 市	大口東、羽月、曾木、羽月西 本城、牛尾、菱刈	
始 良 市	三船、北山 西浦、蒲生、◎西始良	山田
三 島 村		※三島硫黄島学園、※大里学園 ※竹島学園
十 島 村		◎※平島学園
さつま町		宮之城
長 島 町	城川内、伊唐	川床、長島、鷹巣
湧 水 町		吉松
大 崎 町	大丸、大崎、中沖	
東串良町	柏原	
錦 江 町	大原、◎大根占	田代、錦江
南大隅町	神山、佐多	根占、第一佐多
肝 付 町	内之浦、国見	
中種子町	星原、◎納官	
南種子町	花峰、荃南、大川、平山、長谷、◎島 間	
屋久島町	金岳、神山	金岳、安房
大 和 村	大棚	大和
宇 検 村	名柄	田検、名柄
瀬戸内町	諸鈍 与路、阿木名、池池	諸鈍 阿木名、与路、池地
龍 郷 町	龍郷、円、龍瀬、赤徳	赤徳
喜 界 町		喜界
徳之島町	亀津、花徳、母間、神之嶺、手々 山、尾母、亀徳	井之川、亀津、東天城、手々、尾母
天 城 町	兼久	
伊 仙 町	喜念、糸木名、犬田布	面縄
和 泊 町	大城、内城、国頭、和泊	城ヶ丘、和泊
知 名 町	下平川、上城	
与 論 町	那間、与論、茶花	与論
計	246校	98校 ※7校

◎は令和6年度に新規加盟 ※は義務教育学校

ウ 高等学校・特別支援学校

令和7年3月31日現在

市 町 村	高 等 学 校 ・ 特 別 支 援 学 校
鹿 児 島 市	鹿児島玉龍、鹿児島実業、鹿児島情報、鹿児島女子 甲南、樟南、武岡台、鹿児島純心女子
鹿 屋 市	鹿屋特別支援学校
枕 崎 市	鹿児島水産
指 宿 市	指宿、指宿特別支援学校
薩 摩 川 内 市	れいめい
日 置 市	鹿児島育英館、鹿児島城西
霧 島 市	国分中央、福山
いちき串木野市	神村学園
南 さ つ ま 市	鳳凰、加世田常潤
志 布 志 市	尚志館
南 九 州 市	薩南工業
中 種 子 町	中種子特別支援学校
計	23校

高校20校、特別支援学校3校

## 6 国 際 活 動

日本赤十字社は、世界191の国と地域の赤十字社、赤新月社等の一員として、赤十字国際委員会及び国際赤十字・赤新月社連盟と連携して、紛争や自然災害などで苦しんでいる人々に対する救援活動や、発展途上国に対する開発協力等を行っている。

### (1) 国際活動事業への参加

日本赤十字社がインドネシア赤十字社の防災ボランティアの育成等の取組みを支援するために実施する「インドネシア・コミュニティ防災事業」に参画し、事業費の支援を行った。（支援額：1,000千円）

### (2) 「NHK海外たすけあい」寄付金募集

12月1日から25日まで、日本放送協会（NHK）及び社会福祉法人NHK厚生文化事業団との共催で「第42回NHK海外たすけあい」キャンペーンを実施した。

県内6会場で実施した街頭募金活動を含め、多くの県民の方々から温かい善意をお寄せいただいた。（寄付金総額：4,456,948円）



街頭募金の様子

### (3) 海外救援金の取扱い状況（鹿児島県支部受付分）

令和7年3月31日現在

救 援 金 の 名 称 ( 受 付 期 間 )	件 数	金 額 (円)
中 東 人 道 危 機 救 援 金 (平成27年4月1日～令和7年3月31日)	0 (5)	0 (57,951)
バングラデシュ南部避難民救援金 (平成29年9月22日～令和7年3月31日)	0 (5)	0 (17,463)
アフガニスタン人道危機救援金 (令和3年9月22日～令和7年3月31日)	0 (5)	0 (71,277)
ウクライナ人道危機救援金 (令和4年3月2日～令和7年3月31日)	23 (185)	251,652 (12,517,519)
イスラエル・ガザ人道危機救援金 (令和5年10月17日～令和7年3月31日)	4 (10)	23,971 (76,544)
2024年台湾東部沖地震救援金 (令和6年4月5日～令和6年6月30日)	31	1,560,806
レバノン人道危機救援金 (令和6年10月15日～令和7年3月31日)	5	13,850
海 外 救 援 金 (通期)	1 (3)	2,471 (54,394)
合 計	64 (249)	1,852,750 (14,369,804)

※件数及び金額の（ ）は、受付期間中の累計。

## 7 広 報 活 動

赤十字に対する県民のご理解とご協力の促進を図るため、5月の赤十字運動月間を中心に、チラシや機関紙の配布、地区・分区の協力を通じた地域住民への広報を行ったほか、地区・分区、奉仕団、青少年赤十字加盟校などへ視聴覚資材を提供し、赤十字思想の普及に活用していただいた。

### (1) 5月の赤十字運動月間における広報

#### ア 「赤十字レッドライトアッププロジェクト2024」の実施

5月8日(水)の「世界赤十字デー」を中心に、鹿児島県内の下記施設にご協力いただき、赤十字運動月間の周知及び「人道」の理解促進を図る「赤十字レッドライトアッププロジェクト2024」を実施したとともに、(株)山形屋1号館に懸垂幕を掲出し、赤十字活動資金への協力の呼びかけを行った。

また、(株)丸屋本社にご協力いただき、マルヤガーデンズでデジタルサイネージによるポスター掲示並びにパンフレットの設置を行った。

- ・株式会社山形屋（山形屋1号館）
- ・センテラス天文館（外壁ロゴマーク・センテラススクエア）
- ・株式会社JR鹿児島シティ（アミュプラザ鹿児島 アミュラン）
- ・東光山公園
- ・クレインパークいずみ



山形屋1号館



アミュラン（観覧車）

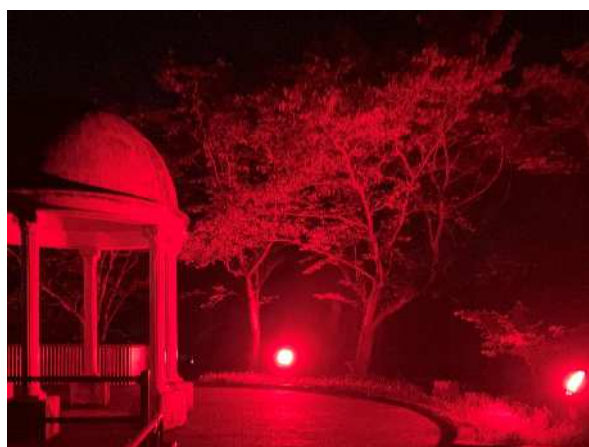




センテラス天文館



クレインパークいずみ



東光山公園



マルヤガーデンズ

## (2) 各種イベント等の活用による広報

### ア 社会福祉大会での広報

各市町村社会福祉協議会主催の「社会福祉大会」において、非常食の炊出し、事業紹介パネル等の展示を行い、赤十字活動の周知に努めた。



薩摩川内市社会福祉大会



垂水市社会福祉大会

### イ 地域イベントでの広報

鹿児島市主催の「元気フェスタ in かんまちあ」や始良市で開催された「あいら福祉まつり」において、救援物資やパネル展示、救護服試着体験、三角巾などを用いた応急手当等の体験講習を行い、赤十字活動のPRを行った。



元気フェスタ in かんまちあ



あいら福祉まつり

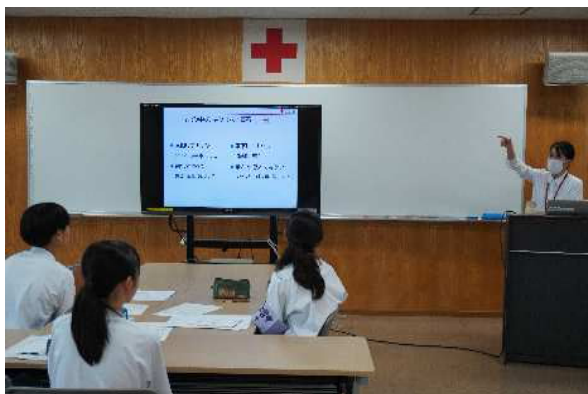
### ウ 司法書士会との協働セミナーの開催

日本赤十字社と日本司法書士会連合会の包括パートナーシップ協定に基づき、令和7年2月2日(日)に、鹿児島県司法書士会と共催で「司法書士による遺言・相続講座」及び個別相談会を開催し、赤十字活動のPR並びに遺贈・相続財産寄付の説明を行った。



## (3) 見学誘致による広報

地域団体や学生等の研修視察場所として赤十字会館をご見学いただき、本県支部の事業内容及び会費の使途等について説明を行い、社資協力に対する理解促進に努めた。





#### (4) 刊行物による広報

##### ア 支部発行

機関紙「赤十字かごしま」	年2回	73,390部
事業年報	年1回	540部
事業計画	〃	150部
赤十字会員増強運動月間用チラシ	〃	306,100部

##### イ 本社発行

赤十字新聞	月刊	18,000部
パンフレット	年1回	7,000部
ポスター	〃	2,150部

#### (5) 各報道機関等による広報

##### ア コミュニティラジオでの広報

鹿児島市のコミュニティFM（FMぎんが）の番組に支部職員が月に1回出演し、赤十字の活動や歴史などを紹介した。

※出演番組：「かごコネの会話のコンパス円卓RADIO」（水曜日10:00～）

##### イ 民放テレビでの広報

県内の民放テレビ4社の情報番組に支部職員が出演し、赤十字の活動を紹介した。

##### ウ WEBサイトやSNSでの広報

県支部WEBサイトやFacebook、Instagramを活用して、赤十字事業や各種の情報について広く県民に紹介した。

○県支部WEBサイト URL : <https://www.jrc.or.jp/chapter/kagoshima/>

○県支部公式Instagram ID : @nisseki\_kagoshima

○県支部公式Facebook ID : @jrc.kagoshima



## 8 赤 十 字 大 会

### (1) 全国赤十字大会

日本赤十字社名誉総裁皇后陛下及び名誉副総裁各妃殿下のご臨席の下、5月15日(水)に東京明治神宮会館で開催され、本県支部から25人が出席した。

### (2) 九州八県赤十字大会

12月17日(火)に福岡県のヒルトン福岡シーホークで開催され、本県支部から42人が出席した。

- ・ 本県の受章(彰)者(社)

金色有功章 5件、銀色有功章 11件、日本赤十字社社長感謝状 6件

### (3) 鹿児島県赤十字有功会総会

7月24日(水)に鹿児島サンロイヤルホテルで開催し、会員等46人が出席した。

- ・ 協議事項等 令和5年度事業報告及び収支決算  
令和6年度事業計画(案)及び収支予算(案)  
理事及び監事の選出

- ・ 記念講演 「最近の経済動向～災害・寄付行動を交えて」  
福留一郎氏(株式会社九州経済研究所 経済調査部)



有功会総会における会長挨拶  
(松前会長)



福留先生による記念講演

## 9 会 員 増 強 運 動

赤十字が行う各種事業の財源は、県民からお寄せいただく社資(会費や寄付金)によって支えられており、5月の「会員増強運動月間」を中心に、各地区・分区等関係者のご協力のもと、その増強に努めた。

また、継続的な社資の納入に加え、赤十字の事業・活動に積極的に協力していただける企業(赤十字サポーター)の募集に努めた。

### (1) 令和6年度会費募集状況及び過去5カ年間の推移

区	分	目標額(千円)	実績額(円)	達成率(%)
令和2年度	一般会費	228,000	214,292,982	94.0
	法人会費	32,000	31,444,099	98.3
	計	260,000	245,737,081	94.5
令和3年度	一般会費	218,000	212,046,444	97.3
	法人会費	32,000	29,706,915	92.8
	計	250,000	241,753,359	96.7
令和4年度	一般会費	218,000	179,439,942	82.3
	法人会費	32,000	35,173,601	109.9
	計	250,000	214,613,543	85.8
令和5年度	一般会費	218,000	185,057,780	84.9
	法人会費	32,000	23,783,293	74.3
	計	250,000	208,841,073	83.5
令和6年度	一般会費	213,000	167,229,446	78.5
	法人会費	32,000	26,252,579	82.0
	計	245,000	193,482,025	79.0

## (2) 令和6年度地区・分区分別社資納入状況一覧表（対社資目標額比較）

地区・分区分	社資目標額(円)	納入額(円)	達成率(%)
<b>鹿児島市</b>	<b>89,643,000</b>	<b>49,152,421</b>	<b>54.8%</b>
鹿児島地域	83,544,500	42,873,286	51.3%
吉田地域	1,346,000	2,695,625	200.3%
桜島地域	417,500	555,700	133.1%
松元地域	2,014,000	841,910	41.8%
郡山地域	896,000	730,000	81.5%
喜入地域	1,425,000	1,455,900	102.2%
<b>鹿屋市</b>	<b>14,406,000</b>	<b>8,373,593</b>	<b>58.1%</b>
鹿屋地域	11,526,000	5,770,063	50.1%
輝北支所	425,500	461,500	108.5%
串良支所	1,636,500	1,475,030	90.1%
吾平支所	818,000	667,000	81.5%
<b>枕崎市</b>	<b>2,862,000</b>	<b>2,819,600</b>	<b>98.5%</b>
<b>阿久根市</b>	<b>2,597,500</b>	<b>3,102,660</b>	<b>119.4%</b>
<b>出水市</b>	<b>7,181,000</b>	<b>7,375,710</b>	<b>102.7%</b>
出水地域	5,016,000	3,706,693	73.9%
野田支所	513,000	828,000	161.4%
高尾野支所	1,652,000	2,841,017	172.0%
<b>指宿市</b>	<b>5,402,000</b>	<b>6,330,540</b>	<b>117.2%</b>
指宿地域	3,564,000	3,767,540	105.7%
山川支所	1,147,500	1,595,000	139.0%
開聞支所	690,500	968,000	140.2%
<b>西之表市</b>	<b>2,153,000</b>	<b>1,880,361</b>	<b>87.3%</b>
<b>垂水市</b>	<b>1,984,000</b>	<b>2,782,630</b>	<b>140.3%</b>
<b>薩摩川内市</b>	<b>12,951,000</b>	<b>13,417,149</b>	<b>103.6%</b>
川内分区分	9,755,500	9,711,050	99.5%
樋脇分区分	850,000	854,017	100.5%
入来分区分	622,500	770,016	123.7%
東郷分区分	646,000	863,519	133.7%
萩原分区分	418,500	632,297	151.1%
甕島分区分	658,500	586,250	89.0%
<b>日置市</b>	<b>6,052,500</b>	<b>7,386,467</b>	<b>122.0%</b>
東市来分区分	1,405,500	1,926,234	137.0%
伊集院分区分	3,043,500	3,482,700	114.4%
日吉分区分	599,000	813,516	135.8%
吹上分区分	1,004,500	1,164,017	115.9%
<b>曾於市</b>	<b>4,561,500</b>	<b>4,835,659</b>	<b>106.0%</b>
大隅分区分	1,314,500	1,339,527	101.9%
財部分区分	1,024,000	1,325,031	129.4%
末吉分区分	2,223,000	2,171,101	97.7%
<b>霧島市</b>	<b>17,933,000</b>	<b>13,884,569</b>	<b>77.4%</b>
国分地域	8,398,000	5,553,419	66.1%
隼人分室	5,504,000	3,545,577	64.4%
溝辺分室	1,116,500	1,285,514	115.1%
横川分室	539,500	638,514	118.4%
牧園分室	1,012,000	1,156,016	114.2%
霧島分室	667,500	879,511	131.8%
福山分室	695,500	826,018	118.8%
いちき串木野市	3,695,000	4,161,030	112.6%
<b>南さつま市</b>	<b>4,365,000</b>	<b>5,801,524</b>	<b>132.9%</b>
加世田地域	2,724,500	3,421,898	125.6%
笠沙支所	306,000	412,000	134.6%
大浦支所	240,000	400,500	166.9%
坊津支所	367,000	523,600	142.7%
金峰支所	727,500	1,043,526	143.4%
<b>志布志市</b>	<b>4,095,500</b>	<b>3,794,707</b>	<b>92.7%</b>
志布志地域	2,279,500	1,787,369	78.4%
松山支所	492,000	677,500	137.7%
有明支所	1,324,000	1,329,838	100.4%
<b>奄美市</b>	<b>6,170,000</b>	<b>3,013,229</b>	<b>48.8%</b>
名瀬地域	5,402,500	1,985,929	36.8%
笠利分区分	767,500	1,027,300	133.9%
<b>南九州市</b>	<b>4,421,500</b>	<b>5,332,400</b>	<b>120.6%</b>
川辺分区分	1,572,000	2,079,000	132.3%
知覧分区分	1,435,500	1,603,500	111.7%
鰐狭分区分	1,414,000	1,649,900	116.7%

地区・分区分	社資目標額(円)	納入額(円)	達成率(%)
<b>伊佐市</b>	<b>3,528,000</b>	<b>4,211,875</b>	<b>119.4%</b>
大口分区分	2,526,000	3,116,852	123.4%
菱刈地域	1,002,000	1,095,023	109.3%

<b>姶良市</b>	<b>10,560,000</b>	<b>6,162,432</b>	<b>58.4%</b>
姶良地域	6,778,000	2,905,635	42.9%
加治木支所	2,994,500	2,209,699	73.8%
蒲生支所	787,500	1,047,098	133.0%
<b>小計</b>	<b>204,561,500</b>	<b>153,818,556</b>	<b>75.2%</b>

三島村	58,500	17,711	30.3%
十島村	116,500	98,000	84.1%
<b>小計</b>	<b>175,000</b>	<b>115,711</b>	<b>66.1%</b>

さつま町	2,746,000	3,693,648	134.5%
<b>小計</b>	<b>2,746,000</b>	<b>3,693,648</b>	<b>134.5%</b>

長島町	1,246,000	1,813,500	145.5%
<b>小計</b>	<b>1,246,000</b>	<b>1,813,500</b>	<b>145.5%</b>

湧水町	1,242,500	1,524,601	122.7%
<b>小計</b>	<b>1,242,500</b>	<b>1,524,601</b>	<b>122.7%</b>

大崎町	1,819,000	1,500,000	82.5%
<b>小計</b>	<b>1,819,000</b>	<b>1,500,000</b>	<b>82.5%</b>

東串良町	884,000	959,761	108.6%
錦江町	905,500	1,268,000	140.0%
南大隅町	895,500	1,220,000	136.2%
肝付町	1,857,500	2,455,419	132.2%
<b>小計</b>	<b>4,542,500</b>	<b>5,903,180</b>	<b>130.0%</b>

中種子町	1,078,000	1,201,000	111.4%
南種子町	819,500	607,651	74.1%
屋久島町	1,816,000	2,432,333	133.9%
<b>小計</b>	<b>3,713,500</b>	<b>4,240,984</b>	<b>114.2%</b>

大和村	213,000	275,000	129.1%
宇検村	235,500	555,000	235.7%
瀬戸内町	1,282,500	889,802	69.4%
龍郷町	831,500	933,450	112.3%
喜界町	957,500	1,204,000	125.7%
徳之島町	1,439,500	1,922,312	133.5%
天城町	782,000	1,042,137	133.3%
伊仙町	836,500	705,517	84.3%
和泊町	877,500	872,000	99.4%
知名町	803,500	1,047,000	130.3%
与論町	695,000	902,800	129.9%
<b>小計</b>	<b>8,954,000</b>	<b>10,349,018</b>	<b>115.6%</b>

市地区計	204,561,500	153,818,556	75.2%
郡地区計	24,438,500	29,140,642	119.2%
<b>市郡地区計</b>	<b>229,000,000</b>	<b>182,959,198</b>	<b>79.9%</b>

支部	10,522,827
地区DM	23,298,881
地区送納書	155,507,089
本社	4,153,228
<b>合計</b>	<b>193,482,025</b>

### (3) 令和6年度地区・分区分別社資納入状況一覧表（対前年度比較）

地区・分区分	令和6年度(円)	令和5年度(円)	対前年(%)
<b>鹿児島市</b>	<b>49,152,421</b>	<b>48,290,893</b>	<b>101.8%</b>
鹿児島地域	42,873,286	43,693,973	98.1%
吉田地域	2,695,625	745,725	361.5%
桜島地域	555,700	573,800	96.8%
松元地域	841,910	867,545	97.0%
郡山地域	730,000	791,400	92.2%
喜入地域	1,455,900	1,618,450	90.0%
<b>鹿屋市</b>	<b>8,373,593</b>	<b>8,889,150</b>	<b>94.2%</b>
鹿屋地域	5,770,063	6,158,278	93.7%
輝北支所	461,500	506,371	91.1%
串良支所	1,475,030	1,531,501	96.3%
吾平支所	667,000	693,000	96.2%
<b>枕崎市</b>	<b>2,819,600</b>	<b>2,937,200</b>	<b>96.0%</b>
<b>阿久根市</b>	<b>3,102,660</b>	<b>2,873,503</b>	<b>108.0%</b>
<b>出水市</b>	<b>7,375,710</b>	<b>7,624,994</b>	<b>96.7%</b>
出水地域	3,706,693	3,858,243	96.1%
野田支所	828,000	894,500	92.6%
高尾野支所	2,841,017	2,872,251	98.9%
<b>指宿市</b>	<b>6,330,540</b>	<b>6,640,624</b>	<b>95.3%</b>
指宿地域	3,767,540	4,105,887	91.8%
山川支所	1,595,000	1,598,237	99.8%
開聞支所	968,000	936,500	103.4%
<b>西之表市</b>	<b>1,880,361</b>	<b>1,798,456</b>	<b>104.6%</b>
<b>垂水市</b>	<b>2,782,630</b>	<b>2,692,119</b>	<b>103.4%</b>
<b>薩摩川内市</b>	<b>13,417,149</b>	<b>13,707,033</b>	<b>97.9%</b>
川内分区分	9,711,050	9,822,772	98.9%
樋脇分区分	854,017	895,000	95.4%
入来分区分	770,016	779,000	98.8%
東郷分区分	863,519	883,000	97.8%
萩原分区分	632,297	574,561	110.0%
甕島分区分	586,250	752,700	77.9%
<b>日置市</b>	<b>7,386,467</b>	<b>7,397,034</b>	<b>99.9%</b>
東市来分区分	1,926,234	1,924,671	100.1%
伊集院分区分	3,482,700	3,432,862	101.5%
日吉分区分	813,516	837,500	97.1%
吹上分区分	1,164,017	1,202,001	96.8%
<b>曾於市</b>	<b>4,835,659</b>	<b>5,007,004</b>	<b>96.6%</b>
大隅分区分	1,339,527	1,407,001	95.2%
財部分区分	1,325,031	1,380,001	96.0%
末吉分区分	2,171,101	2,220,002	97.8%
<b>霧島市</b>	<b>13,884,569</b>	<b>14,964,198</b>	<b>92.8%</b>
国分地域	5,553,419	6,345,395	87.5%
隼人分室	3,545,577	3,715,952	95.4%
溝辺分室	1,285,514	1,328,001	96.8%
横川分室	638,514	753,000	84.8%
牧園分室	1,156,016	1,050,850	110.0%
霧島分室	879,511	895,000	98.3%
福山分室	826,018	876,000	94.3%
いちき串木野市	4,161,030	4,218,250	98.6%
<b>南さつま市</b>	<b>5,801,524</b>	<b>5,989,073</b>	<b>96.9%</b>
加世田地域	3,421,898	3,575,840	95.7%
笠沙支所	412,000	413,500	99.6%
大浦支所	400,500	403,132	99.3%
坊津支所	523,600	526,500	99.4%
金峰支所	1,043,526	1,070,101	97.5%
<b>志布志市</b>	<b>3,794,707</b>	<b>4,051,601</b>	<b>93.7%</b>
志布志地域	1,787,369	2,093,901	85.4%
松山支所	677,500	589,500	114.9%
有明支所	1,329,838	1,368,200	97.2%
<b>奄美市</b>	<b>3,013,229</b>	<b>2,649,025</b>	<b>113.7%</b>
名瀬地域	1,985,929	1,753,125	113.3%
笠利分区分	1,027,300	895,900	114.7%
<b>南九州市</b>	<b>5,332,400</b>	<b>5,616,350</b>	<b>94.9%</b>
川辺分区分	2,079,000	1,696,200	122.6%
知覧分区分	1,603,500	1,781,150	90.0%
頤娃分区分	1,649,900	2,139,000	77.1%

地区・分区分	令和6年度(円)	令和5年度(円)	対前年(%)
<b>伊佐市</b>	<b>4,211,875</b>	<b>4,360,953</b>	<b>96.6%</b>
大口分区分	3,116,852	3,218,052	96.9%
菱刈地域	1,095,023	1,142,901	95.8%

<b>始良市</b>	<b>6,162,432</b>	<b>8,292,415</b>	<b>74.3%</b>
始良地域	2,905,635	2,925,707	99.3%
加治木支所	2,209,699	4,372,408	50.5%
蒲生支所	1,047,098	994,300	105.3%
<b>小計</b>	<b>153,818,556</b>	<b>157,999,875</b>	<b>97.4%</b>

三島村	17,711	91,500	19.4%
十島村	98,000	111,700	87.7%
<b>小計</b>	<b>115,711</b>	<b>203,200</b>	<b>56.9%</b>

さつま町	3,693,648	3,790,110	97.5%
<b>小計</b>	<b>3,693,648</b>	<b>3,790,110</b>	<b>97.5%</b>

長島町	1,813,500	1,794,003	101.1%
<b>小計</b>	<b>1,813,500</b>	<b>1,794,003</b>	<b>101.1%</b>

湧水町	1,524,601	1,544,500	98.7%
<b>小計</b>	<b>1,524,601</b>	<b>1,544,500</b>	<b>98.7%</b>

大崎町	1,500,000	1,569,500	95.6%
<b>小計</b>	<b>1,500,000</b>	<b>1,569,500</b>	<b>95.6%</b>

東串良町	959,761	1,004,755	95.5%
錦江町	1,268,000	1,323,500	95.8%
南大隅町	1,220,000	1,278,000	95.5%
肝付町	2,455,419	12,576,876	19.5%
<b>小計</b>	<b>5,903,180</b>	<b>16,183,131</b>	<b>36.5%</b>

中種子町	1,201,000	1,157,500	103.8%
南種子町	607,651	590,000	103.0%
屋久島町	2,432,333	2,468,451	98.5%
<b>小計</b>	<b>4,240,984</b>	<b>4,215,951</b>	<b>100.6%</b>

大和村	275,000	270,933	101.5%
宇検村	555,000	555,850	99.8%
瀬戸内町	889,802	784,671	113.4%
龍郷町	933,450	949,923	98.3%
喜界町	1,204,000	1,234,000	97.6%
徳之島町	1,922,312	2,054,698	93.6%
天城町	1,042,137	1,068,950	97.5%
伊仙町	705,517	696,200	101.3%
和泊町	872,000	960,000	90.8%
知名町	1,047,000	1,164,500	89.9%
与論町	902,800	933,100	96.8%
<b>小計</b>	<b>10,349,018</b>	<b>10,672,825</b>	<b>97.0%</b>

市地区計	153,818,556	157,999,875	97.4%
郡地区計	29,140,642	39,973,220	72.9%
<b>市郡地区計</b>	<b>182,959,198</b>	<b>197,973,095</b>	<b>92.4%</b>

支部	10,522,827	10,867,978	96.8%
地区DM	23,298,881	32,423,875	71.9%
地区送納書	155,507,089	161,957,544	96.0%
本社	4,153,228	3,591,676	115.6%
<b>合計</b>	<b>193,482,025</b>	<b>208,841,073</b>	<b>92.6%</b>

#### (4) 令和6年度地区・分區別会員募集実績前年対比一覧表

	種類別内訳						令和6年度 件数	令和5年度 件数	増減
	個人					法人			
	500円以上 1,000円未満	1,000円以上 2,000円未満	2,000円以上 10,000円未満	10,000円 以上	計 A				
						B	A+B=C	D	C-D
鹿児島市	35,920	138	179	145	36,382	505	36,887	40,167	-3,280
鹿児島地域	30,837	129	177	137	31,280	498	31,778	34,400	-2,622
吉田地域	813	1	0	4	818	2	820	969	-149
桜島地域	1,091	0	1	0	1,092	0	1,092	1,040	52
松元地域	891	0	0	0	891	1	892	819	73
郡山地域	947	5	1	0	953	4	957	1,126	-169
喜入地域	1,341	3	0	4	1,348	0	1,348	1,813	-465
鹿屋市	13,144	213	83	13	13,453	90	13,543	14,441	-898
鹿屋地域	8,290	212	82	11	8,595	80	8,675	9,306	-631
輝北支所	903	0	0	0	903	1	904	1,010	-106
串良支所	2,796	1	1	1	2,799	5	2,804	2,913	-109
吾平支所	1,155	0	0	1	1,156	4	1,160	1,212	-52
枕崎市	5,203	24	5	3	5,235	17	5,252	5,453	-201
阿久根市	5,348	0	3	5	5,356	9	5,365	5,387	-22
出水市	10,453	227	13	13	10,706	47	10,753	11,048	-295
出水地域	6,156	148	9	7	6,320	32	6,352	6,558	-206
野田支所	1,214	74	0	1	1,289	5	1,294	1,331	-37
高尾野支所	3,083	5	4	5	3,097	10	3,107	3,159	-52
指宿市	9,688	181	37	11	9,917	26	9,943	10,089	-146
指宿地域	5,347	36	29	8	5,420	22	5,442	5,518	-76
山川支所	2,521	145	7	3	2,676	2	2,678	2,703	-25
開聞支所	1,820	0	1	0	1,821	2	1,823	1,868	-45
西之表市	2,716	50	3	3	2,772	9	2,781	2,844	-63
垂水市	4,854	2	10	3	4,869	10	4,879	4,931	-52
薩摩川内市	23,836	35	28	19	23,918	73	23,991	24,838	-847
川内分区分	17,084	0	18	13	17,115	66	17,181	17,523	-342
樋脇分区分	1,588	0	1	4	1,593	0	1,593	1,662	-69
入来分区分	1,384	1	1	0	1,386	5	1,391	1,437	-46
東郷分区分	1,663	8	3	1	1,675	0	1,675	1,715	-40
祁答院分区分	1,048	1	4	1	1,054	2	1,056	1,081	-25
甌島分区分	1,069	25	1	0	1,095	0	1,095	1,081	14
日置市	14,130	47	18	4	14,199	1	14,200	14,408	-208
東市来分区分	3,791	0	0	2	3,793	0	3,793	3,781	12
伊集院分区分	6,398	46	15	2	6,461	1	6,462	6,567	-105
日吉分区分	1,625	1	0	0	1,626	0	1,626	1,674	-48
吹上分区分	2,316	0	3	0	2,319	0	2,319	2,386	-67
曾於市	8,727	70	20	1	8,818	19	8,837	9,175	-338
大隅分区分	2,451	41	2	0	2,494	11	2,505	2,596	-91
財部分区分	2,426	0	6	0	2,432	2	2,434	2,504	-70
末吉分区分	3,850	29	12	1	3,892	6	3,898	4,075	-177
霧島市	23,448	160	48	7	23,663	53	23,716	23,540	176
国分地域	9,547	63	17	3	9,630	23	9,653	9,870	-217
隼人分室	5,992	46	16	3	6,057	14	6,071	5,466	605
溝辺分室	2,119	0	5	1	2,125	6	2,131	2,184	-53
横川分室	1,205	1	3	0	1,209	3	1,212	1,303	-91
牧園分室	1,848	48	3	0	1,899	4	1,903	1,923	-20
霧島分室	1,133	1	1	0	1,135	2	1,137	1,143	-6
福山分室	1,604	1	3	0	1,608	1	1,609	1,651	-42
いちき串木野市	7,213	404	16	1	7,634	2	7,636	7,771	-135
南さつま市	8,216	1,245	14	4	9,479	30	9,509	9,894	-385
加世田地域	4,008	1,049	5	4	5,066	24	5,090	5,311	-221
笠沙支所	622	97	2	0	721	0	721	726	-5
大浦支所	656	56	3	0	715	1	716	736	-20
坊津支所	923	38	4	0	965	0	965	1,001	-36
金峰支所	2,007	5	0	0	2,012	5	2,017	2,120	-103
志布志市	6,367	17	17	5	6,406	50	6,456	6,600	-144
志布志地域	3,208	8	8	3	3,227	16	3,243	3,403	-160
松山支所	1,075	0	3	0	1,078	14	1,092	1,014	78
有明支所	2,084	9	6	2	2,101	20	2,121	2,183	-62
奄美市	2,506	9	30	8	2,553	62	2,615	2,512	103
名瀬地域	673	9	28	7	717	59	776	860	-84
笠利分区分	1,833	0	2	1	1,836	3	1,839	1,652	187



#### (4) 令和6年度地区・分区别会員募集実績前年対比一覧表

	種類別内訳						令和6年度 件数 A+B=C	令和5年度 件数 D	増減 C-D
	個人					法人 B			
	500円以上 1,000円未満	1,000円以上 2,000円未満	2,000円以上 10,000円未満	10,000円 以上	計 A				
南九州市	7,714	640	6	3	8,363	4	8,367	8,723	-356
川辺分区	4,098	0	0	1	4,099	0	4,099	4,219	-120
知覧分区	3,063	1	0	2	3,066	4	3,070	3,261	-191
願娃分区	553	639	6	0	1,198	0	1,198	1,243	-45
伊佐市	6,690	196	3	3	6,892	16	6,908	7,205	-297
大口分区	1,989	82	1	0	2,072	0	2,072	2,192	-120
菱刈地域	4,701	114	2	3	4,820	16	4,836	5,013	-177
姶良市	7,710	374	32	10	8,126	26	8,152	8,593	-441
姶良地域	2,735	298	26	5	3,064	11	3,075	3,131	-56
加治木支所	3,217	76	6	2	3,301	14	3,315	3,565	-250
蒲生支所	1,758	0	0	3	1,761	1	1,762	1,897	-135
小計	203,883	4,032	565	261	208,741	1,049	209,790	217,618	-7,828
三島村	0	0	2	1	3	0	3	91	-88
十島村	22	44	7	1	74	2	76	88	-12
小計	22	44	9	2	77	2	79	179	-100
さつま町	6,541	74	5	7	6,627	9	6,636	6,986	-350
小計	6,541	74	5	7	6,627	9	6,636	6,986	-350
長島町	2,897	0	0	0	2,897	6	2,903	2,864	39
小計	2,897	0	0	0	2,897	6	2,903	2,864	39
湧水町	3,029	0	0	1	3,030	0	3,030	3,089	-59
小計	3,029	0	0	1	3,030	0	3,030	3,089	-59
大崎町	2,526	234	1	0	2,761	0	2,761	2,901	-140
小計	2,526	234	1	0	2,761	0	2,761	2,901	-140
東串良町	1,628	8	0	0	1,636	14	1,650	1,730	-80
錦江町	2,516	0	0	1	2,517	0	2,517	2,623	-106
南大隅町	2,440	0	0	0	2,440	0	2,440	2,554	-114
肝付町	4,444	19	4	0	4,467	20	4,487	4,673	-186
小計	11,028	27	4	1	11,060	34	11,094	11,580	-486
中種子町	2,132	0	0	0	2,132	7	2,139	2,160	-21
南種子町	877	11	0	4	892	5	897	934	-37
屋久島町	4,010	55	12	0	4,077	2	4,079	4,024	55
小計	7,019	66	12	4	7,101	14	7,115	7,118	-3
大和村	430	0	0	1	431	1	432	440	-8
宇検村	642	21	1	1	665	3	668	662	6
瀬戸内町	1,344	14	1	2	1,361	23	1,384	1,381	3
龍郷町	1,703	2	0	0	1,705	1	1,706	1,781	-75
喜界町	2,164	0	2	0	2,166	11	2,177	2,221	-44
徳之島町	2,108	32	3	5	2,148	48	2,196	2,337	-141
天城町	1,388	0	1	0	1,389	55	1,444	1,482	-38
伊仙町	1,115	33	3	0	1,151	2	1,153	1,152	1
和泊町	1,544	11	5	0	1,560	1	1,561	1,614	-53
知名町	1,890	2	0	0	1,892	2	1,894	1,991	-97
与論町	1,605	0	0	0	1,605	2	1,607	1,656	-49
小計	15,933	115	16	9	16,073	149	16,222	16,717	-495
市地区計	203,883	4,032	565	261	208,741	1,049	209,790	217,618	-7,828
郡地区計	48,995	560	47	24	49,626	214	49,840	51,434	-1,594
地区分区計	252,878	4,592	612	285	258,367	1,263	259,630	269,052	-9,422
支部	56	67	274	79	476	252	728	725	3
合計	252,934	4,659	886	364	258,843	1,515	260,358	269,777	-9,419

## (5) 令和6年度赤十字会員増強運動功労表彰

12月末までに会費募集目標額を達成し、さらに次の基準を満たす地区・分区等を支部長名で表彰した。

ア 令和6年度の会費等実績額が前年度実績の102%以上となった地区・分区

地域区分	地区・分区名	地区・分区数
市地区	鹿児島市地区（吉田地域）、阿久根市地区、指宿市地区（開聞支所）、薩摩川内市地区祁答院分区、霧島市地区（牧園分室）、志布志市地区（松山支所）、奄美市地区笠利分区、南九州市地区川辺分区	8
合 計		8

イ その他特に会員募集及び会費等募集に顕著な功績があった地区・分区等

※1,000円以上10,000円未満募集目標件数及び法人会員目標件数をそれぞれ110%以上達成し、かつ会費目標額を125%以上達成

地域区分	地区・分区名	地区・分区数
市地区	出水市地区（野田支所）	1
合 計		1

※件数欄の（ ）は、ア、イ両方の基準に該当する地区・分区の数

# (6) 過去5力年間の会員募集実績の推移

種別		年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
				件数(件)	増減(件)	件数(件)	増減(件)	件数(件)	増減(件)	件数(件)	増減(件)	件数(件)	増減(件)
個人	500円以上 1,000円未満			285,400	△ 11,082	275,923	△ 9,477	273,083	△ 2,840	261,927	△ 11,156	252,934	△ 8,993
	1,000円以上			7,906	△ 621	7,287	△ 619	6,544	△ 743	6,339	△ 205	5,909	△ 430
	小計			293,306	△ 11,703	283,210	△ 10,096	279,627	△ 3,583	268,266	△ 11,361	258,843	△ 9,423
法人				1,539	172	1,497	△ 42	1,497	0	1,511	14	1,515	4
合 計				294,845	△ 11,531	284,707	△ 10,138	281,124	△ 3,583	269,777	△ 11,347	260,358	△ 9,419

# (7) 令和6年度一般社資金額別内訳一覧表

内訳 1件あたり金額		一般社資		個人住民税に関する 指定事業社資		合 計	
		件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)
1	100万円以上	4	6,000,000	0	0	4	6,000,000
2	50万円以上 100万円未満	1	515,160	0	0	1	515,160
3	20万円以上 50万円未満	0	0	2	500,000	2	500,000
4	10万円以上 20万円未満	17	1,703,519	5	500,000	22	2,203,519
5	5万円以上 10万円未満	13	657,843	0	0	13	657,843
6	3万円以上 5万円未満	37	1,135,552	0	0	37	1,135,552
7	1万円以上 3万円未満	279	3,233,051	6	100,000	285	3,333,051
8	5千円以上 1万円未満	312	1,891,004	0	0	312	1,891,004
9	1千円以上 5千円未満	5,233	6,037,310	0	0	5,233	6,037,310
10	500円以上 1千円未満	252,934	126,525,506	0	0	252,934	126,525,506
11	500円未満	90,305	18,430,501	0	0	90,305	18,430,501
社資合計		349,135	166,129,446	13	1,100,000	349,148	167,229,446

# (8) 令和6年度法人社資金額別内訳一覧表

内 訳 1件あたり金額		指定事業社資		その他法人社資		合 計	
		件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)
1	100万円以上	0	0	3	4,500,000	3	4,500,000
2	50万円以上 100万円未満	1	500,000	0	0	1	500,000
3	20万円以上 50万円未満	3	700,000	5	1,297,587	8	1,997,587
4	10万円以上 20万円未満	6	600,000	38	4,087,142	44	4,687,142
5	5万円以上 10万円未満	0	0	96	4,920,359	96	4,920,359
6	2万円以上 5万円未満	0	0	82	2,033,217	82	2,033,217
7	1万円以上 2万円未満	0	0	517	5,220,888	517	5,220,888
8	5千円以上 1万円未満	0	0	321	1,651,105	321	1,651,105
9	1千円以上 5千円未満	0	0	308	676,779	308	676,779
10	500円以上 1千円未満	0	0	66	47,919	66	47,919
11	500円未満	0	0	69	17,583	69	17,583
合 計		10	1,800,000	1,505	24,452,579	1,515	26,252,579

**(9) 日本赤十字社有功章等表彰受彰（章）者（社）名簿**

**※敬称略、順不同**

◎日本赤十字社の表彰（章）

**日本赤十字社感謝状 6件**

- ・弓場 秋信（鹿児島市）
- ・藤岡 義道（指宿市）
- ・白玉醸造株式会社（肝属郡錦江町）
- ・株式会社 前田組（鹿児島市）
- ・株式会社 霧島エッグ（霧島市）
- ・有限会社 中村酒造場（霧島市）

**金色有功章 5件（うち不掲載希望者1名）**

- ・福田 光一（鹿児島市）
- ・福元 喜公男（鹿児島市）
- ・杉之尾 正文（鹿児島市）
- ・明治安田生命保険相互会社 鹿児島支社（鹿児島市）

**銀色有功章 11件（うち不掲載希望者 4件）**

- ・広雲寺（鹿児島市）
- ・株式会社 森山肇組（鹿児島市）
- ・一般社団法人 鹿児島県警備業協会 青年部（鹿児島市）
- ・一般社団法人 鹿児島道路降灰除去協会（鹿児島市）
- ・医療法人慈尊幸徳会 毛利歯科クリニック（鹿児島市）
- ・株式会社 しんぷく（鹿児島市）
- ・荒波産業 株式会社（大島郡龍郷町）

## 10 評議員会及び監査等

### (1) 支部評議員会

評議員会を次のとおり開催し、いずれの議案も原案どおり承認された。

- ・第1回支部評議員会（6月19日（水）：マリnpレスかごしま）  
第1号議案 令和5年度主要事業の実施状況報告及び令和5年度歳入歳出決算について
  
- ・第2回支部評議員会（荒天のため文書審議で開催）  
第1号議案 令和7年度事業計画(案)及び令和7年度歳入歳出予算(案)について  
第2号議案 代議員の選出について

### (2) 業務監査

5月29日（水）に、支部監査委員3人により支部各施設の令和5年度の業務及び歳入歳出決算に係る監査が実施され、適正であるとの講評を得た。

※ 監査対象の会計

- ・日本赤十字社鹿児島県支部 一般会計
- ・鹿児島赤十字病院医療施設 特別会計
- ・特別養護老人ホーム錦江園社会福祉施設 特別会計

### (3) 地区・分区関係各種会議等

会員増強運動並びに事業の進展を図るため、次の会議・研修会等を開催した。

ア 地区・分区事務長及び担当者研修会

- ・開催日 4月22日（月）～23日（火）
- ・場所 市町村自治会館
- ・参加 72人
- ・研修内容 赤十字について  
赤十字事務取扱要領について  
日本赤十字社の活動報告  
事例発表（地域支援活動と赤十字～コミュニティーワークと赤十字事業～）

イ 社業振興幹事会

- ・開催日 10月21日（月）
- ・場所 鹿児島県赤十字会館
- ・出席 22人
- ・議題 鹿児島県支部における社資募集の現状について  
鹿児島県支部における社資募集の課題と今後の取組みについて  
赤十字大会等について他

ウ 副地区長及び担当者会議（郡地区）

- ・開催日 1月24日（金）
- ・場所 鹿児島県赤十字会館
- ・出席 12人
- ・議題 令和6年度（12月末時点）主要事業実施状況概要について  
令和7年度事業計画について  
令和6年度会員数・社資額の状況について  
令和7年度赤十字会員増強運動事務処理要領及び目標額について  
地区説明会について  
令和7年全国赤十字大会について  
令和7年度九州八県赤十字大会について

エ 市地区事務長会議

- ・開催日 2月21日（金）
- ・場所 鹿児島県赤十字会館
- ・出席 16人（市地区）
- ・議題 令和6年度（12月末時点）主要事業実施状況概要について  
令和7年度事業計画について  
令和6年度会員数・社資額の状況について  
令和7年度赤十字会員増強運動事務処理要領及び目標額について  
令和7年全国赤十字大会について  
令和7年度九州八県赤十字大会について

オ 郡地区説明会

- ・開催日 2月3日（月）～26日（水）（6地区4会場で開催）
- ・出席 40人（郡地区・地区・分区担当者等）
- ・議題 令和6年度（12月末時点）主要事業実施状況概要について  
令和7年度事業計画について  
令和6年度会員数・社資額の状況について  
令和7年度赤十字会員増強運動事務処理要領及び目標額について  
社業振興幹事会報告  
令和7年全国赤十字大会について  
令和7年度九州八県赤十字大会について

## 11 医 療 事 業

鹿児島赤十字病院は、公的病院として地域医療の進展に貢献していくため、一般病床120床をベースに災害時の医療救護、離島・へき地医療への取り組みはもとより、リウマチ・膠原病、関節・脊椎整形外科領域を主とする急性期医療など、各診療科領域において、適切な医療の提供に取り組み、その使命と役割を果たしている。



これらの医療活動を円滑に展開していくため、医師・看護師等人材の確保や医療機器・設備の改善とともに地域医療連携の一層の推進等を図りつつ、平均在院日数の短縮、病床稼働率の改善・向上など引き続き経営収支の改善と安定化に取り組むことともに、医療サービスの質的向上・効率的提供や患者サービスの向上に努めた。

新型コロナウイルス感染拡大に伴う対応については、鹿児島県の要請により令和2年7月7日から令和5年9月30日までの間、新型コロナウイルス感染患者を延べ497人受入れた。

また、県が策定した地域医療構想を踏まえ、令和5年12月より120床全床急性期病床から、急性期80床、地域包括ケア病床40床へ病床機能を変更した。

### (1) 一般医療

ア 診療科目 9診療科

[内科・リウマチ科・循環器内科・呼吸器内科・整形外科・脳神経外科・麻酔科・放射線科・リハビリテーション科]

イ 診療日 月曜日～金曜日（緊急時はこの限りではありません）

ウ 診療実績

#### ① 入院患者数

鹿児島赤十字病院は、昭和55年以降、結核病床主体から一般病床へのシフト化とともに、特定疾患としてリウマチ膠原病や骨粗しょう症、生活習慣病対策に取り組み、更に、関節・脊椎を主体とする整形外科を導入するなど予防・診断・治療からリハビリテーションまでの包括的医療体制を整備してきた結果、一般患者の診療圏が県内全域に及ぶようになった。

更に、平成15年7月に脳神経外科、平成16年3月には麻酔科、平成25年1月には循環器内科を設置し、診療活動の拡充に努めている。

新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、昨年度同様専用受入病棟を一般病棟として稼働させたことから、入院患者延数は30,649人で、前年度より3,812人多く、病床稼働率8.9%増となった。

〔診療科別入院患者数〕

(単位：人)

（単位：人）											
区 分	令和 6 年度				令和 5 年度				比較 (R6-R5)		
種 別	在院 延数	退院	患者延数 [在院+退院]	1 日平均 患者数	在院 延数	退院	患者延数 [在院+退院]	1 日平均 患者数	在院 延数	患者延数 [在院+退院]	1 日平均 患者数
内 科	2,690	169	2,859	7.8	2,317	181	2,498	6.8	373	361	1.0
リウマチ科	7,878	603	8,481	23.2	9,162	683	9,845	26.9	Δ 1,284	Δ 1,364	Δ 3.7
整形外科	19,478	670	20,148	55.2	15,311	652	15,963	43.6	4,167	4,185	11.6
循環器内科	603	27	630	1.7					603	630	1.7
合 計	30,649	1,469	32,118	88.0	26,790	1,516	28,306	77.3	3,859	3,812	10.7
病床稼働率				73.3%	病床稼働率				病床稼働率		8.9%



地域医療連携室	12/2～12/13	5名	成人・老年Ⅱ看護学実習	鹿児島医療技術専門学校3年生
	12/9～12/13	5名	看護を知る実習	医療法人協会立看護専門学校1年生
	8/5～9/12	1人	ソーシャルワーク実習Ⅱ	鹿児島国際大学

## (2) 医療救護活動

赤十字病院の特徴として、台風や地震などの災害、事故などへの災害救護活動を使命としており、災害拠点病院及びDMAT指定病院に指定されている。

災害発生度の高い本県の気象条件、地理的特徴に鑑み、災害時に医師・看護師等を速やかに派遣し、その機能が十分発揮できるよう、常備救護班の整備や災害救護訓練に積極的に参加するなど、緊急時に備えるとともに、発災時には積極的な医療救護班の派遣に努めている。

令和6年度は下記医療救護活動、訓練・研修に救護班等を派遣した。

### ア 医療救護活動

期日	日数	場所	内容	派遣職員
8月5～7日	3	県立南薩少年自然の家	青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター救護	2人(看護師2)
8月24日	1	鹿児島港本港区	錦江湾サマーナイト大花火大会救護	6人(医師1、看護師3、主事2)
3月2日	1	鹿児島市	かごしまマラソン2025救護	4人(医師1、看護師3)

### イ 災害救護訓練・研修

期日	日数	場所	内容	派遣職員
5月26日	1	奄美市	鹿児島県総合防災訓練	4人(医師1、看護師2、主事1)
7月5日～6日	2	日赤本社	日赤災害医療コーディネート研修会	受講者1人
7月5日～9月末	—	—	救護員登録研修(共通過程)eラーニング	受講者26人
8月23日	1	鹿児島赤十字病院	こころのケア研修会	指導者2人、受講者15人
10月2日	1	鹿児島市	桜島火山爆発総合防災訓練(図上訓練)	1人(医師1)
10月9日～10日	2	日赤本社	こころのケア指導者養成研修会	受講者1人
10月24日	1	鹿児島空港	航空機事故対処訓練	7人(医師2、看護師3、主事2)
10月5日～7日	3	福岡県	日本DMAT隊員養成研修	1人(主事1)
10月8日～9日	2	鹿児島市	日本赤十字社防災教育事業指導者養成研修	受講者1人
11月16日	1	鹿児島市	桜島火山爆発総合防災訓練(住民避難訓練)	1人(医師1)
11月20日	1	鹿児島市	離島防災訓練(図上訓練)	2人(医師1、主事1)
11月21日	1	十島村	離島防災訓練(実働訓練)	2人(医師1、看護師1)
11月23日～24日	2	長崎県	日本DMAT九州・沖縄ブロック実働訓練	4人(医師1、看護師1、主事2)
12月7日～8日	2	鹿児島市	鹿児島県DMAT隊員養成研修	3人(看護師2、主事1)
1月8日～10日	3	大阪府	日本DMAT隊員養成研修	2人(医師1、看護師1)
12月7日～8日	2	鹿児島市	日本赤十字社 原子力災害対応基礎研修会	スタッフ2人、受講者6人
1月26日～27日	2	石川県	日本赤十字社 原子力災害対応基礎研修会	スタッフ1人
1月28日	1	鹿児島市	鹿児島県国民保護共同訓練(図上)	1人(医師1)
2月1日～2日	2	福岡県	全国赤十字救護班研修会	スタッフ2人、受講者6人
2月4日～5日	2	日赤本社	日本赤十字社 原子力災害医療アドバイザー会議	1人(医師1)

### (3) へき地医療

#### ア へき地医療拠点病院事業

鹿児島赤十字病院は、昭和 56 年 4 月 1 日から鹿児島広域市町村圏のへき地中核病院として県の指定を受け離島・へき地医療に携わってきたが、へき地中核病院の再編成により平成 14 年 7 月 1 日にへき地医療拠点病院として指定を受け県から 4 人の派遣医師を受入れ、離島・へき地診療所への医師の派遣及び巡回診療に取り組んでいる。

なお、三島村は平成12年10月から、十島村の上四島は平成14年4月からそれぞれ医師1人を派遣、へき地診療所で対応困難な緊急を要する患者を、ヘリコプター（県消防防災ヘリ等）で搬送する体制にも添乗医師として協力している。併せて、離島職員・患者と当院にいる医師が双方向でやりとりする遠隔医療（TV 会議）システムを活用し、迅速な対応に努めている。

へき地医療拠点病院医師派遣事業の一環として、依頼があった際、へき地診療所等に代診医師の派遣を行うこととしているが、令和 6 年度は実績なし。



離島からの患者ヘリ搬送



遠隔医療(TV 会議)システムによる診察

#### 三島村・十島村医師等派遣

地 区	診療所数	医師派遣 延日数	看護師派遣 延日数	延受診者数	医師添乗ヘリコプター 急患搬送回数
三島村	4 診療所	102.5	0.0	549	2 回
十島村	7 診療所	242.5	12.5	1,063	2 回
計	11 診療所	345.0	12.5	1,612	4 回

#### イ へき地医療拠点病院医師派遣事業（代診医師）

派遣日	派遣先	派遣医師数(人)
	実績なし	

### (4) 保健衛生事業

#### ア 保健衛生事業への協力

##### ①へき地における住民検診・赤十字講習会等

事業名	実施地区	実施人員(人)		対前年比 (%)
		令和5年度	令和6年度	
住民健(検)診及び 健康診断	三島村(4地区)	461	471	102.2%
	十島村(7地区)			
予 防 接 種	三島村(4地区)	1,231	975	79.2%
	十島村(7地区)			
赤十字救急法講習会 及びAED講習	三島村(4地区)	221	204	92.3%
	十島村(7地区)			
特 定 健 康 診 査	三島村(4地区)	182	166	91.2%
	十島村(7地区)			
計		2,095	1,816	86.7%

②生活習慣病予防健診（単位：人）

年度 種類	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
一般健診	339	400	361	252	298
人間ドック	66	64	36	30	21
脳ドック	76	87	0	0	0
計	481	551	397	282	319

(5) 相談援助・地域連携

ア 相談援助事業

内容	件数	内容	件数
受診・受療に関すること	3,834 件	日常生活に関すること	256 件
経済的問題に関すること	39 件	就労・就学関すること	8 件
制度活用に関すること	271 件	身元保証・権利擁護に関すること	0 件
入院療養生活に関すること	191 件	死後対応に関すること	9 件
退院支援	2,350 件	その他（IC 同席・合同カンファレンス等）	287 件
在宅療養・介護に関すること	698 件	その他（チーム医療介入者数）	2,295 件
医療者との関係に関すること	3 件		
家族関係に関すること	22 件	対応患者数	8,016 人

イ 居宅介護支援事業〔ケアプラン作成〕

（単位：件）

		ケアプラン作成件数												
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延件数
鹿児島市	令和5年度計	26	24	29	28	27	28	25	27	27	24	22	0	284
	令和6年度計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鹿児島市 以外	令和5年度計	2	2	2	3	2	2	2	2	1	1	0	0	19
	令和6年度計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	令和5年度計	28	26	31	31	29	30	27	29	25	25	22	0	303
	令和6年度計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※令和6年3月より居宅介護支援事業所は休止中

## 12 血 液 事 業

血液事業は、国民の信頼のうえに成り立っている事業であり、「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律（血液法）」に基づき、献血者の安定的な確保と安全な輸血用血液製剤の供給を使命としている。なお、同法においては、輸血用血液製剤の国内自給を基本理念とし、血液事業の実行にあたっては、国、都道府県及び市町村、採血事業者、血液製剤の製造販売業者等、医療関係者等の各々の役割と責任が明確化されている。また、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（薬機法）」に基づき、輸血用血液製剤の品質や安全性の確保を行っている。

日本赤十字社では、血液事業の運営体制について血液製剤の更なる「安全性の向上」と「安定供給の確保」、また、国民に信頼される効率的で持続可能な事業運営体制の確立を目的に、平成24年4月より全国を7ブロックに分けたブロック単位での広域的な事業運営体制を開始した。それ以降、鹿児島県で献血された血液の検査と輸血用血液製剤の製造は、九州ブロック血液センターで一括して行っている。

献血血液の約半分は輸血用血液製剤として輸血に使用され、残りの約半分は血漿分画製剤という医薬品の原料となる。全国的にみると、輸血用血液製剤の需要としては2013年度以降、いずれも横ばいまたは漸減傾向がみられる一方で、血漿分画製剤の原料としての需要は、免疫グロブリン製剤の使用の拡大に伴い、大幅に増大している。

鹿児島県では令和6年度の目標献血者数63,827人に対して、58,996人（対前年度比95.3%）の方々に献血のご協力をいただいた。本県では少子高齢化に加え新型コロナウイルス感染症の影響も受け、移動採血における一稼働あたりの献血者数減少が続いていたが、令和5年5月の新型コロナウイルス感染症5類移行後も、10代から40代までの献血者数は減少傾向となっている。

一方で同年度に、鹿児島県内の医療機関に供給された輸血用血液製剤は、200mL献血由来が479本、400mL献血由来が59,315本、成分献血由来が12,224本の合計72,018本、200mL換算すると230,652本（対前年度比99.0%）となった。

鹿児島県赤十字血液センターでは、採血及び供給計画に基づく確実な業務推進を行うことで当血液センターに課せられた使命や責務を果たすとともに、徹底した業務効率化、各部門業務連携体制の再構築を行い、時代に合った働きやすい職場を目指す。また、離島を数多く有する血液センターとして、地域の医療機関にとって安心・安全な血液供給体制を築くための努力の継続に加えて、血液製剤発注システムの利用促進や血液製剤の定時配送体制の確立を進めていく。

# (1) 供給・採血実績

## ア センター供給本数

(単位:本)

区 分	200mL由来	400mL由来	成分由来	合 計	200mL換算	対前年度比
全 血 製 剤	0	0		0	0	0.0%
赤血球製剤	398	49,495		49,893	99,388	102.0%
血 漿 製 剤	81	9,820	1,747	11,648	26,709	100.0%
血小板製剤	0	0	10,477	10,477	104,555	96.0%
合 計	479	59,315	12,224	72,018	230,652	99.0%
構 成 比	0.6%	82.4%	17.0%	100.0%		

※センター供給本数＝血液センター、鹿屋及び川内出張所の3施設から供給された合計本数

## イ 献血者数

(単位:人)

区 分	2 0 0 m L	4 0 0 m L	成 分	合 計
血 液 セ ン タ ー	59	6,373	7,826	14,258
献 血 ル ー ム	275	6,108	7,372	13,755
献 血 バ ス	177	30,806	0	30,983
合 計	511	43,287	15,198	58,996
構 成 比	0.8%	73.4%	25.8%	100.0%
対 前 年 度 比	148.5%	94.6%	95.9%	95.3%

## **(2) 供 給 体 制**

医療機関からの血液要請に対して、受注から出庫・供給までの業務が円滑に行われるよう手順の確認を行い、関連する法令を遵守しつつ、業務が適切に図られるように教育訓練を徹底した。

また、各医療機関との情報交換及び連携強化を図り、确实且つ迅速な供給業務に努めるとともに、供給予測の強化を図り、有効利用の推進及び期限切れの抑制に努めた。

供給体制については、血液センター及び鹿屋・川内両出張所から、品質管理の行き届いた輸血用血液製剤を、鹿児島県内全医療機関に安全・迅速且つ確実に直接供給する体制を強化し定時配送率86%以上の目標を達成できた。

医療機関からの血液製剤の発注については、令和2年11月から新WEB発注システムの運用が開始され、医療機関のWEB発注システム登録の強化を実施してきた。

## **(3) 医 薬 情 報 活 動**

県薬務課及び鹿児島県合同輸血療法委員会と連携し、医療機関の輸血管理部門や輸血実施部門等に対し研修会を実施し、安全な輸血を行うための情報提供及び支援をし、受血者の安全性向上に努めた。

また、主要な医療機関へは院内の輸血療法委員会等に参加し、安定供給にかかる需要動向の把握、医療機関情報を積極的に収集した。

有害事象等の収集に努め、医薬品（輸血用血液製剤）販売後の安全管理業務を迅速に行った。

## **(4) 鹿児島県合同輸血療法委員会への協力**

第14回令和6年度鹿児島県合同輸血療法懇話会をオンラインで開催した。鹿児島県赤十字血液センターは、事務局として鹿児島県合同輸血療法委員会の世話人会や講師の先生方への働きかけに加え、県内の医療機関へ開催の案内を発送するなど協力した。

## (5) 献 血 推 進

血液事業について、「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」により、血液センターは採血事業者として献血の受入れの推進を行わなければならないと記されている。一方、国に対しては、血液製剤の安全性の向上や安定的な確保が求められており、地方公共団体に対しては、献血についての住民理解を深めるとともに、採血事業者による献血の受入れが円滑に実施されるよう必要な措置を講じなくてはならないと記されている。

医療に必要な血液の確保は、県民一人ひとりの献血運動に対する理解と協力に支えられているが、特に、少子高齢化が進む中、若年層の献血者確保に重点をおき、三者一体となった推進が必要である。

血液製剤の安定確保のため、400mL献血及び成分献血の推進強化に努めるとともに県民へ献血思想の普及啓発を図るため、県・市町村献血推進協議会及び各種団体の協力を得て、下記の事業を実施した。

◎6月11日 「市町村・保健所献血推進主管課長及び担当者会議」（集合・WEB開催）  
血液製剤の安全性向上と安定供給を図るための基本方針や、最近の献血輸血用血液製剤の供給状況や安全対策等について説明を行った。

◎7月1日 「愛の血液助け合い運動月間」  
～7月31日 長期休暇などにより学校や企業、団体から献血へのご協力が得られにくい夏季の輸血用血液の安定供給を図るため、厚生労働省・都道府県・日本赤十字社の主催により、毎年7月1日から1か月間にわたり全国各地で献血推進キャンペーンを実施している。  
当県では、7月6日(土)に献血推進街頭キャンペーンを実施した。

◎10月18日 「ライオンズクラブ献血推進セミナー」  
献血協力、推進等に大きな役割を果たしていただいている県内ライオンズクラブの役員、会員の方々を中心に更なる血液事業への理解と相互の情報交換を目的とした「献血推進セミナー」を開催した。  
セミナーでは、県内の血液事業について説明を行うとともに、各クラブの活動状況報告等を行い、今後の取組みについて対策等を協議した。

◎12月16日 「学生クリスマス献血キャンペーン2024」

～12月25日

全国学生クリスマス献血キャンペーンの一環として、鹿児島県学生献血推進協議会の主催により、県内5か所（鹿児島大学・鹿児島国際大学・志学館大学・イオンモール鹿児島・鹿児島大学水産学部）において実施した。協賛企業・団体からのプレゼントによる抽選会、お菓子やドリンクサービスなど献血者が楽しめる企画を展開し、合計227名の協力が得られた。



◎1月1日 「はたちの献血キャンペーン」

～2月28日

成人として社会への第一歩を踏み出そうとしている若い方々を中心に、献血について理解を深めていただき、冬季における輸血用血液の安定供給を図るため、テレビやラジオCM、ポスター掲示等の広報を行うなど、成人の日を含む1月から2月の2カ月間全国的に展開している。

当県では、1月12日（日）天文館ベルク広場において、ライオンズクラブ、学生献血推進協議会等各種団体の協力を得て、街頭キャンペーンを実施した。

◎1月7日 「MBCラジオ献血ウィーク」

～1月18日

年始の献血者確保を目的に、1月の12日間をキャンペーン期間とし、リスナーから献血に関する川柳を募る企画では、123名の応募をいただくなど多くの反響があった。  
期間中、1,789名の協力が得られた。

◎3月20日 「μFM春休み献血キャンペーン」

～3月30日

献血者確保が難しくなる年度末に、血液センター職員やけんけつ応援隊メンバーがμFMに出演し、献血を呼びかけるキャンペーンを実施し、期間中、1,831名の協力が得られた。



## (6) 献血予約の推進と協力要請

献血の待ち時間や混雑緩和のため、「献血予約」を推進し、また、献血者減少時など必要に応じて献血への協力依頼を行った。

献血WEB会員サービス「ラブラッド」では、献血の予約や依頼要請をはじめ、検査結果の閲覧、様々な献血者、受血者等の声を伝えるサービスを提供している。

ラブラッド登録者数 (人)

令和4年度	令和5年度	令和6年度
26,761	30,594	35,819

## (7) 骨髄バンク事業

骨髄提供者の受付及び登録業務を行い、データ管理に万全を期すとともに、献血併行型骨髄バンクドナー登録会への協力に努めた。

(人)

登録者受付数（新規）	399
登録取消者数	237
累計登録者数	4,851
（前年度末累計登録者数）	4,689

## (8) 献血功労者表彰

献血功労者として、次の団体が受賞された。

### 〔厚生労働大臣表彰状〕（2団体）

- ・セイカ食品株式会社
- ・公益社団法人 枕崎青年会議所

### 〔厚生労働大臣感謝状〕（9団体）

- ・プラッセだいわ出水店
- ・医療法人徳洲会 屋久島徳洲会病院
- ・医療法人昭泉会 馬場病院
- ・株式会社 宇都組
- ・伊佐湧水消防組合
- ・薩摩郡医師会立病院
- ・ヤマト運輸株式会社 鹿児島主管支店
- ・大隅肝属地区消防組合
- ・鎌田建設株式会社

## 13 社 会 福 祉 事 業

特別養護老人ホーム錦江園は、ユニット型施設として指定介護老人福祉施設事業（80床）と短期入所生活介護事業（2床）の事業を行っている。

令和6年度においても、入居希望者の申込みを随時受付け、外部委員を含む入居検討委員会を年4回開催し、円滑な入居と経営の安定に努めた。また、介護保険における「日常生活継続支援加算」、「夜勤職員配置加算」、「看護体制加算」、「口腔機能維持管理加算」等の加算項目の要件に適切に対応しながら経営の安定に努めた。

さらに、懸案となっている介護職員の処遇についても、「介護職員等処遇改善加算」による賃金の引き上げを行い、人材の確保に努めた結果、大きな欠員を生じることなく、質の高いサービス提供の維持を行うことができた。



なお、社会福祉事業の財源である介護保険事業収入は430,710千円となり、令和5年度（前年度）決算額419,083千円と比較すると、11,627千円の増収となった。



入居者の介護にあたっては、一人ひとりの個性や生活リズムに沿ってサービスを提供し、施設であっても自宅での生活を継続できるよう支援した他、入居者が有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう支援した。

さらに、鹿児島赤十字病院や歯科医療機関等の協力をいただき、入居者の健康管理、口腔ケアに努めた。

なお、錦江園創立50周年記念式典の開催を予定していたが、台風10号接近に伴い安全上の観点から中止とし、記念誌のみ発行した。

## (1) 指定介護老人福祉施設事業

令和6年度の施設介護料収入は、介護報酬改定や栄養マネジメント強化加算・協力医療機関連携加算等の新たな加算取得等により、前年度より11,590千円増の322,794千円となった。

### <利用状況>

	定員数（人）	総日数（日）	延べ数（人）	入居率（％）
令和6年度	80	29,200	28,064	96.1
令和5年度	80	29,280	28,178	96.2

※総日数＝365日（1年間）×定員数。令和5年度は閏年のため366日（1年間）

### <入退居者の状況>

（単位：人）

区 分	入 居	退 所	死 亡
令和6年度	31	1	29
令和5年度	25	1	25

### <入院の状況>

（延べ日数）

	4月 ～6月	7月 ～9月	10月 ～12月	1月 ～3月	計
令和6年度	213	250	156	293	912
令和5年度	217	313	188	212	930

### <要介護度の状況>

（令和7年4月1日時点）

要介護度	1	2	3	4	5	計	平均介護度
令和6年度	0	0	9	30	41	80	4.43
令和5年度	0	0	8	28	44	80	4.46

## (2) 短期入所生活介護事業

令和6年度の居宅介護料収入は、介護報酬改定等により前年度より310千円増の5,874千円となった。

### <利用状況>

	定員数（人）	総日数（日）	延べ数（人）	利用率（％）
令和6年度	2	730	619	84.8
令和5年度	2	732	619	84.6

※総日数＝365日（1年間）×定員数（2名）。令和5年度は閏年のため366日（1年間）

<利用者数・要介護度の状況>

(令和7年4月1日時点)

要介護度	要支援 1	要支援 2	1	2	3	4	5	計	平均介護度
令和6年度	0	0	0	0	5	7	5	17	4.14
令和5年度	1	0	0	0	4	2	5	12	4.09

### (3) 入居者へ質の高いサービスの提供

#### ①資機材の整備・更新

- ・ICT機器の整備として、新たに「トイレ移乗サポートロボット」を2台、「移動式リフト」を2台追加整備、さらに将来的な見守り支援機器の導入を見据えてユニット内のWiFi設備を整えた。
- ・入居者及び職員の負担軽減を図るため、スライディングボードやエアマットレス、テイルト型車椅子、電動ベッドの追加整備を行った。

#### ②園内行事または各種イベント等

- ・園内行事として秋祭りを6年ぶりに規模を縮小して開催するだけでなく、合同ユニット企画としてクリスマス会や節分の豆まきなどを行った。
- ・社会福祉マジシャンとして活躍する「シロウちゃん」をボランティアとして受け入れ、入居者にマジックショーを楽しんでいただいた。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響で大規模なイベント実施が限られる中、少しでも入居者の情緒の安定を図るため、少人数で対応可能な各ユニット単位での催し（たこ焼きづくりや初詣等）を強化・企画・実施した。

#### ③入居者の健康管理

- ・鹿児島赤十字病院と提携し、週1回の回診を行うことで入居者の健康管理に努めた。
- ・協力歯科医療機関の歯科医師から技術的助言や指導を受け、経管栄養食から経口摂取への移行や入居者の口腔機能を維持管理するための口腔ケアに努めた。

#### ④各種委員会又は会議の開催

- ・「サービス担当者会議」等の各種会議、「感染症等対策委員会」、「介護事故防止検討委員会」及び「身体拘束適正化検討委員会」等の各種委員会を定期的に開催し、職種間の緊密な連携による質の高いサービスの提供に努めた。

#### ⑤各種研修への参加

職員の資質の向上と職業倫理の徹底を図ることを目的として、以下のとおり園内研修を実施または外部研修へ参加した。

- ・外部で開催される各種研修会に年間21回、延べ26名の職員が参加した。
- ・職場内研修は毎月開催し、延べ283名の職員が参加した。
- ・職場内研修を充実させるため「褥瘡発生予防研修会」、「虐待・身体拘束廃止研修会」及び「看取り・医療的ケア研修会」は外部から講師を招いて行った。



(虐待・身体拘束廃止研修会)



(初詣)



(クリスマス会)



(豆まき)

#### (4) 入居者の安全対策・環境整備

- ・防災安全委員会を年4回開催した他、防火避難訓練を実施し、防災対策および防災意識の向上に努めた。
- ・自然災害及び新型コロナウイルス等感染症発生時における業務継続計画（BCP）の見直し及び更新を行うとともに、地震災害時の災害対応机上訓練を実施した。



(防火避難訓練)



(BCP 災害対応机上訓練)



## (5) ボランティアの受入れと地域との連携

- ・コロナ禍で受入れができていなかったボランティア団体について感染対策を行った上で、ボランティアの受入れ、地域住民との交流を行った。また、「平川まちづくり協議会」に参加し、平川校区文化祭に出展する等、地域との連携や交流拡大に努めた。
- ・地域福祉活動推進会議を開催し、地域ニーズの確認のために情報収集を行った。

## (6) 実習生の受入れ

- ・介護福祉士等を目指す学生（大学生、専門学校生）の介護実習等の研修や地域の小中学生の職場体験学習等を受入れ、若年層への福祉の啓発に努めた。

## (7) 地域貢献活動について

- ・地域に信頼され開かれた福祉施設を目指して、地域の皆様からの要請に基づき、救急法短期講習や健康生活支援講習短期講習等を行った。
- ・台風接近時の避難先として施設を開放し、地域住民の受入れを行った。



(救急法短期講習)



(台風避難者の受入れ)

## (8) 広報活動について

- ・ホームページを随時更新し、地域や一般市民に対して必要な情報を提供した。
- ・錦江園の広報誌「さざなみ」を定期的に発行し、錦江園の行事や入居者の様子などを幅広く紹介した。

## (9) その他

- ・鹿児島県赤十字有功会から普通型車椅子 1 台、錦江園家族会からティルト型車椅子 1 台を寄贈していただいた。
- ・職場満足度調査を実施し、全職員からのご意見に基づいた職場環境改善に取り組んだ。
- ・業務の効率化、スリム化を推進するため、これまでより一層、改善活動を促進した。

( 参 考 )

令和 6 年度における入居者の状況（令和 7 年 3 月 31 日現在）

(ア) 出身市町村別、年齢別の状況

(単位：人)

年 齢 出身地	性 別	55 歳 ～ 64 歳	65 歳 ～ 69 歳	70 歳 ～ 79 歳	80 歳 ～ 84 歳	85 歳 ～ 89 歳	90 歳 ～ 94 歳	95 歳 ～ 99 歳	100 歳 以上	計	合 計
鹿 児 島 市	男	0	0	5	4	2	1	3	0	15	68
	女	2	0	6	9	8	15	11	2	53	
南 九 州 市	女	0	0	1	0	0	1	0	0	2	2
指 宿 市	女	0	0	0	1	0	1	0	0	2	2
枕 崎 市	女	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1
垂 水 市	女	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1
薩 摩 川 内 市	女	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1
いちき串木野市	女	0	0	0	0	2	0	0	0	2	2
十 島 村	女	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1
長 島 町	女	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1
錦 江 町	男	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1
計	男	0	0	5	5	2	1	3	0	16	80
	女	2	1	7	11	10	17	14	2	64	
平均年齢		87 歳 2 月		最高年齢		103 歳 7 月		最少年齢		56 歳 8 月	
男		83 歳 11 月		男		96 歳 7 月		男		70 歳 10 月	
女		88 歳		女		103 歳 7 月		女		56 歳 8 月	

(イ) 在園期間

(単位：人)

在園 期間 性別	1 年 未 満	2 年 未 満	3 年 未 満	4 年 未 満	5 年 未 満	6 年 未 満	7 年 未 満	8 年 未 満	9 年 未 満	10 年 未 満	11 年 未 満	12 年 未 満	13 年 未 満	14 年 未 満	16 年 未 満	合 計
男	7	0	3	2	1	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	16
女	19	15	6	8	2	3	6	1	1	0	0	1	0	1	1	64
計	26	15	9	10	3	3	7	2	1	0	0	2	0	1	1	80

## (ウ) 日常生活能力

(単位：人)

区 分	歩 行				食 事			入 浴			着 衣			排 泄					
	自 力 歩 行	杖 等 の 歩 行 補 助 器 使 用	車 い す 使 用	歩 行 介 助	自 分 で 可 能	一 部 介 助	全 面 介 助	自 分 で 可 能	一 部 介 助	全 面 介 助	自 分 で 可 能	一 部 介 助	全 面 介 助	昼 間		夜 間		お む つ 使 用	
														便所		お む つ 使 用	便所		
														自 分 で 可 能	介 助		自 分 で 可 能		介 助
人 数	2	4	70	4	32	22	26	0	22	58	4	26	50	10	32	38	7	9	64

## (エ) 疾病の状況

(単位：人)

病 名	人 員	病 名	人 員
脳 卒 中 後 遺 症	11	糖 尿 病	2
アルツハイマー型認知症	26	精 神 遅 滞	2
脳 血 管 性 認 知 症	8	腎 不 全	1
心 疾 患	6	骨 粗 鬆 症	2
関 節 リ ウ マ チ	16	甲 状 腺 機 能 低 下 症	1
パ ー キ ン ソ ン 病	3	貧 血	2

## (オ) 死亡者の死因

(単位：人)

疾病名 区分	老 衰	肺 炎	敗血症	脳出血	尿路感染症	その他	計
施 設	6	4	0	0	1	3	14
病 院	1	4	4	2	1	3	15
計	7	8	4	2	2	6	29



# 14 決 算 状 況

## (1) 令和6年度一般会計歳入歳出決算書

日本赤十字社鹿児島支部

歳 入												歳 出			
科 目	予算現額 (A)	決 算 額 (B)	予算現額に比し 増減(B)-(A)	収入率 (B/A)	全体比	科 目	予算現額 (C)	決 算 額 (D)	不 用 額 (C-D)	執行率 (D/C)	全体比				
支部収入	263,852,000	257,545,349	△ 6,306,651	97.6	100.0	支部費	263,852,000	215,618,876	48,233,124	81.7	100.0				
社資収入	204,000,000	193,482,025	△ 10,517,975	94.8	75.1	災害救護事業費	24,800,000	19,543,901	5,256,099	78.8	9.1				
委託金等収入	0	1,868,132	1,868,132	-	0.7	社会活動費	40,413,000	26,502,831	13,910,169	65.6	12.3				
補助金及び交付金 収入	5,176,000	4,431,615	△ 744,385	85.6	1.7	国際活動費	1,000,000	1,000,000	0	-	0.5				
災害義援金預り金 収入	0	0	0	-	0.0	指定事業地方振興 費	1,100,000	1,100,000	0	100.0	0.5				
繰入金収入	1,000,000	1,000,000	0	100.0	0.4	地区区分交付金支 出	38,480,000	35,225,015	3,254,985	91.5	16.3				
貸付金償還金収 入	5,000,000	5,000,000	0	100.0	1.9	社業振興費	36,304,000	27,859,535	8,444,465	76.7	12.9				
資産収入	0	40,308	40,308	-	0.0	基盤整備交付金・ 補助金支出	0	0	0	-	0.0				
雑収入	2,848,000	3,153,033	305,033	110.7	1.1	積立金支出	30,607,000	19,884,170	10,722,830	65.0	9.2				
前年度繰越金	45,828,000	48,570,236	2,742,236	106.0	18.9	総務管理費	54,848,000	52,656,735	2,191,265	96.0	24.4				
						資産取得及び資産 管理費	3,835,000	3,259,386	575,614	85.0	1.5				
						本社送納金	30,165,000	28,587,303	1,577,697	94.8	13.3				
						予備費	2,300,000	0	2,300,000	0.0	0.0				
合 計	263,852,000	257,545,349	△ 6,306,651	97.6	99.8	合 計	263,852,000	215,618,876	48,233,124	81.7	100.0				

歳入歳出差引額 41,926,473 円



(3) 令和6年度社会福祉施設特別会計歳入歳出決算書

1 事業活動による収入及び支出

科	目	予算現額 (A)	決算額 (B)	予算現額に比し 増減(B)-(A)	収入率 (B/A)	全体比 %	科	目	予算現額 (C)	決算額 (D)	不用額 (C)-(D)	執行率 (D/C)	全体比 %
1	施設収入						1	施設費					
							1	人件費支出	310,956,000	309,551,189	1,404,811	99.5	78.1
							2	事業費支出	57,256,000	56,227,725	1,028,275	98.2	14.2
							3	事務費支出	27,802,000	27,789,251	12,749	100.0	7.0
							6	利用者負担軽減額	1,122,000	1,121,979	21	100.0	0.3
							7	支払利息支出	1,693,000	1,692,112	888	99.9	0.4
							8	その他の支出	20,000	0	20,000	0.0	0.0
	事業活動収入計	429,040,000	431,404,315	2,364,315		100.0		事業活動支出計	398,849,000	396,382,256	2,466,744	99.4	100.0
事業活動資金収支差額										35,022,059 円			

2 施設整備等による収入及び支出

科	目	予算現額 (A)	決算額 (B)	収入未済額 (C)	予算現額に比し 増減(B)-(A)+(C)	科	目	予算現額 (D)	決算額 (E)	翌年度繰越額 (F)	不用額 (D)-(E)-(F)
		円	円	円	円			円	円	円	円
14	施設整備等補助金収入	0	0	0	0	10	設備資金借入金元金償還支出	14,808,000	14,808,000	0	0
15	施設整備等寄付金収入	0	0	0	0	11	固定資産取得支出	13,675,000	13,375,030	0	299,970
						12	固定資産除却・廃棄支出	0	0	0	0
						13	ファイナンス・リース債務の返済支出	2,024,000	2,023,569	0	431
	施設整備等収入計	0	0	0	0		施設整備等支出計	30,507,000	30,206,599	0	300,401
					施設整備等資金収支差額      △ 30,206,599      円						

3 その他の活動による収入及び支出

科	目	予算現額 (A)	決算額 (B)	収入未済額 (C)	予算現額に比し 増減(B)-(A)+(C)	科	目	予算現額 (D)	決算額 (E)	翌年度繰越額 (F)	不用額 (D)-(E)-(F)
		円	円	円	円			円	円	円	円
24	他会計長期借入金収入	0	0	0	0	18	積立資産支出	0	0	0	0
28	他会計繰入金収入	300,000	446,971	0	146,971	21	他会計長期借入金返済支出	5,000,000	5,000,000	0	0
31	その他の活動による収入	2,341,000	2,340,800	0	△ 200	26	その他活動による支出	10,201,000	9,792,198	0	408,802
財務活動収入計		2,641,000	2,787,771	0	146,771	財務活動支出計		15,201,000	14,792,198	0	408,802
その他の活動資金収支差額										△ 12,004,427 円	

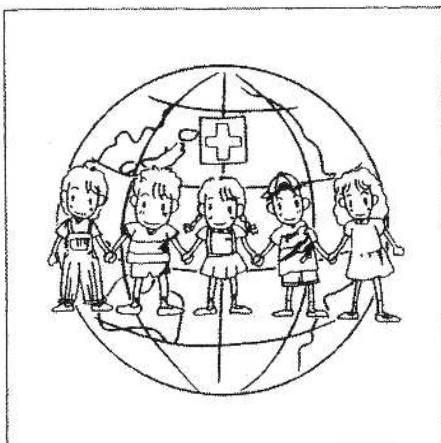
4 当期末支払資金残高

	予算現額 (A)	決算額 (B)	予算現額に比し 増減(B)-(A)
事業活動資金収支差額	30,191,000	35,022,059	4,831,059
施設整備等資金収支差額	△ 30,507,000	△ 30,206,599	300,401
その他の活動資金収支差額	△ 12,560,000	△ 12,004,427	555,573
予備費	1,963,000		
当期資金収支差額合計	△ 14,839,000	△ 7,188,967	7,650,033
前期末支払資金残高	192,767,000	204,889,334	12,122,334
当期末支払資金残高	177,928,000	197,700,367	19,772,367

5 収入支出の合計

	予算現額 (A)	決算額 (B)	収入未済額 (C)	予算現額に比し 増減(B)-(A)+(C)
収入合計	624,448,000	639,081,420	0	14,633,420
支出合計	446,520,000	441,381,053	0	5,138,947
収入支出差引額	197,700,367	197,700,367		





## 參考資料

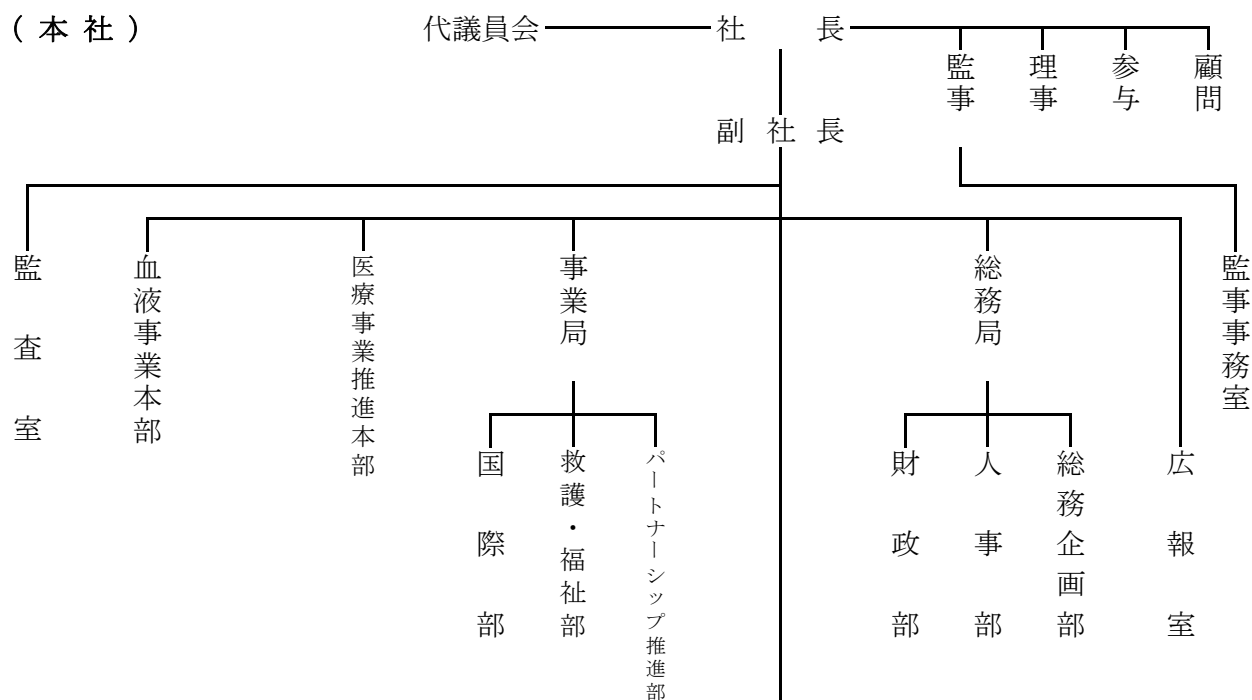


# 本社及び支部組織図等

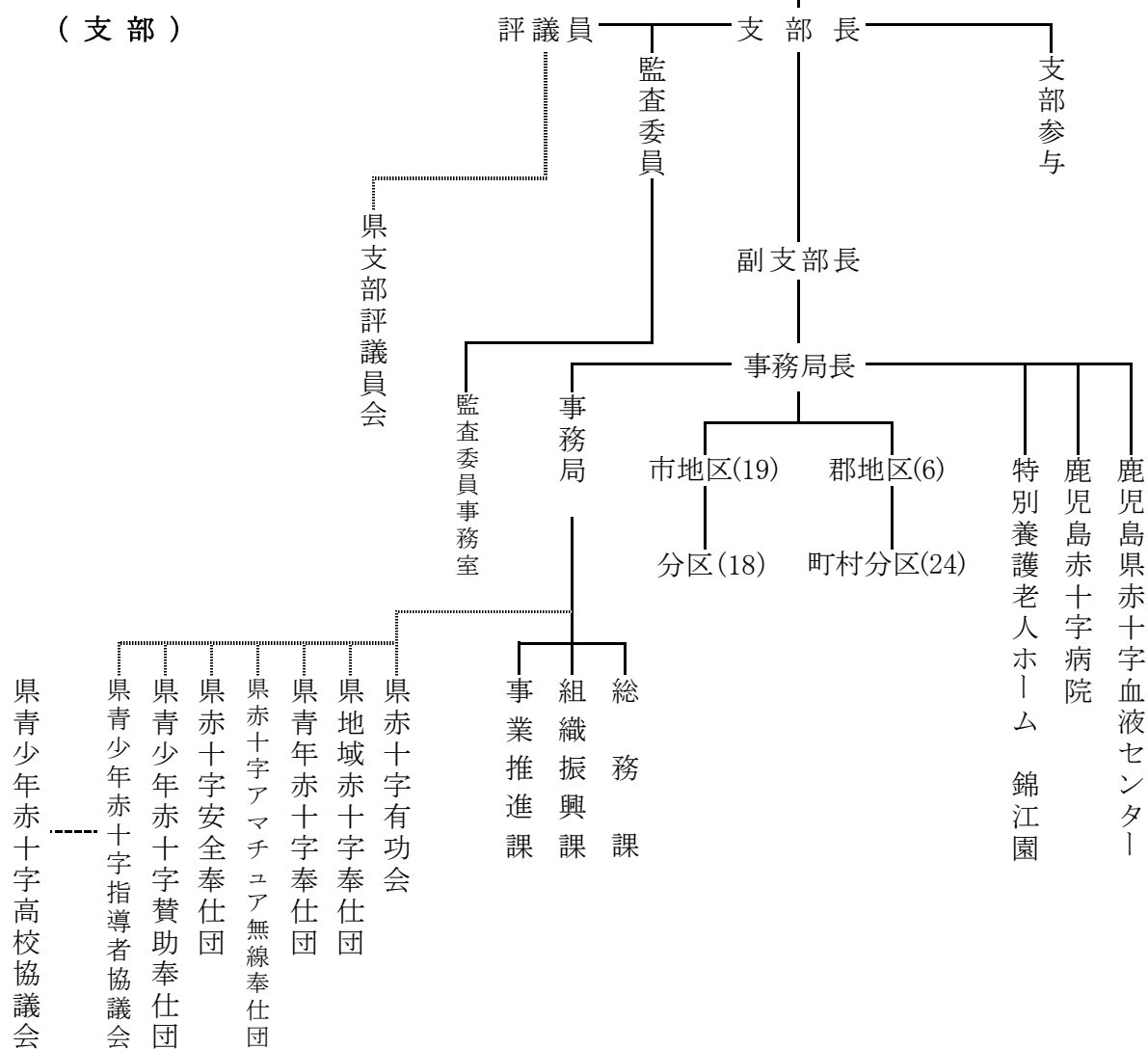
## 組 織 図

令和7年4月1日 現在

( 本 社 )



( 支 部 )



## 日本赤十字社鹿児島県支部主要役員名簿

主 要 役 員 名

令和 7 年 4 月 1 日現在

役 職 名	氏 名	現 職	任 期
支 部 長	塩 田 康 一	県 知 事	R5. 7.28～R8. 7.27
副 支 部 長	大 塚 大 輔	県 副 知 事	R5. 7.10～R8. 7. 9
〃	伊 地 知 芳 浩	県 保 健 福 祉 部 長	R7. 4. 1～R10. 3.31
本 社 常 任 理 事	森 博 幸	公益財団法人かごしま教育文化振興財団理事長	R7. 4. 1～R8. 3.31
本 社 理 事	森 博 幸	公益財団法人かごしま教育文化振興財団理事長	R7. 4. 1～R10. 3.31
支 部 選 出 本 社 代 議 員	森 博 幸	公益財団法人かごしま教育文化振興財団理事長	R7. 2.14～R10. 2.13
〃	本 坊 輝 雄	南 さ つ ま 市 長	〃
〃	高 岡 秀 規	徳 之 島 町 長	〃
〃	川 畑 俊 彦	南生建設(株)名誉会長	〃
〃	大 迫 茂 子	赤十字奉仕団県支部 委 員 会 委 員 長	〃
支 部 監 査 委 員	大 柳 俊 一	県 町 村 会 参 事 監	R6. 4. 1～R9. 3.31
〃	西 井 上 誠	前県社会福祉協議会 常務理事兼事務局長	R6. 2. 9～R9. 2. 8

支 部 参 与

氏 名	公 職 名	就任年月日
地 頭 所 恵	県 教 育 長	令和5年4月1日
竹 村 直 子	県保健福祉部 次 長	令和6年4月1日
松 田 典 久	元支部事務局長	令和2年4月1日



# 日本赤十字社鹿児島県支部 評議員 名簿

## ■評 議 員

任期(令和7年2月14日～令和10年2月13日)

令和7年2月14日現在

地 区 名	氏 名	職 業	地 区 名 等	氏 名	職 業	
鹿児島市地区	下 鶴 隆 央	鹿 児 島 市 長	霧 島 市 地 区	中 重 真 一	霧 島 市 長	
〃	椎 木 明 彦	鹿 児 島 市 社 会 事 業 協 会 理 事 長	〃	福 永 洵	霧 島 市 社 会 福 祉 協 議 会 会 長	
〃	中 間 隆 志	日 赤 鹿 児 島 市 地 区 協 賛 委 員 会 会 長	いちき串木野市地区	中 屋 謙 治	いちき串木野市長	
〃	坪 内 元	日 赤 鹿 児 島 市 地 区 協 賛 委 員 会 副 会 長	南さつま市地区	本 坊 輝 雄	南 さ つ ま 市 長	
〃	三原美智子	日 赤 鹿 児 島 市 地 区 協 賛 委 員 会 副 会 長	志布志市地区	下 平 晴 行	志 布 志 市 長	
〃	赤 星 貴 子	鹿 児 島 中 央 赤 十 字 奉 仕 団 委 員 長	奄 美 市 地 区	安 田 壮 平	奄 美 市 長	
〃	小 正 芳 史	鹿 児 島 総 合 卸 商 業 団 地 協 同 組 合 理 事 長	南九州市地区	塗 木 弘 幸	南 九 州 市 長	
鹿屋市地区	中 西 茂	鹿 屋 市 長	伊 佐 市 地 区	橋 本 欣 也	伊 佐 市 長	
〃	宮 下 昭 廣	鹿屋市社会福祉 協 議 会 会 長	始 良 市 地 区	湯 元 敏 浩	始 良 市 長	
枕崎市地区	前 田 祝 成	枕 崎 市 長	郡 地 区	鹿児島・ 始良・北薩	上 野 俊 市	さ つ ま 町 長
阿久根市地区	西 平 良 将	阿 久 根 市 長		大 隅	宮 原 順	東 串 良 町 長
出水市地区	椎 木 伸 一	出 水 市 長		熊 毛	田 淵 川 寿 広	中 種 子 町 長
指宿市地区	打 越 明 司	指 宿 市 長		大 島	高 岡 秀 規	徳 之 島 町 長
西之表市地区	八 板 俊 輔	西 之 表 市 長	支 部 長 選 出	森 博 幸	(公財)かごしま教育 文化振興財団理事長	
垂水市地区	尾 脇 雅 弥	垂 水 市 長	〃	牧 角 寛 郎	県 医 師 会 会 長	
薩摩川内市地区	田 中 良 二	薩 摩 川 内 市 長	〃	松 前 邦 昭	県 赤 十 字 有 功 会 会 長	
〃	上 屋 和 夫	薩 摩 川 内 市 社 会 福 祉 協 議 会 会 長	〃	川 畑 俊 彦	南 生 建 設 (株) 名 誉 会 長	
日置市地区	永 山 由 高	日 置 市 長	〃	佐 潟 隆 一	(株)南日本新聞社 社 長	
曾 於 市 地 区	五 位 塚 剛	曾 於 市 長	〃	中 野 寿 康	(株)南日本放送 社 長	
			〃	大 迫 茂 子	赤十字奉仕団県支部 委 員 会 委 員 長	
			〃	日 高 京 美	県 青 少 年 赤 十 字 指 導 者 協 議 会 会 長	

評議員 計 40人

# 日本赤十字社現勢

日本赤十字社の使命				わたしたちは、 苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、 いかなる状況下でも、 人間のいのちと健康、尊厳を守ります。				日本赤十字社スローガン 人間を救うのは、人間だ。				赤十字の基本原則 人道・公平・中立・独立・奉仕・単一・世界性			
1949年のジュネーブ四条約締結国				196カ国				世界の赤十字社・赤新月社等				191社			
1. 沿革				明治10年(1877) 5月 1日 博愛社設立 明治20年(1887) 5月20日 日本赤十字社に改称 昭和27年(1952) 8月14日 日本赤十字社法制定				12. 国内災害救護				8,939人(常備救護班要員を含む) 487班 6,535人 (令和6年3月31日現在) 3,093局 2,206台 95人 32,740人 34,275個 382億5,912万1,632円			
2. 名誉総裁・名誉副総裁				名 誉 総 裁 皇 后 陛 下 名 誉 副 総 裁 秋篠宮皇嗣妃殿下 常陸宮殿下・同妃華子殿下 三笠宮妃百合子殿下 寛仁親王妃信子殿下 高円宮妃久子殿下				13. 医 療 事 業				施 設 数 91 5 4 5 34,525床 (令和6年3月31日現在) 1日平均 2.6万人 6.4万人			
3. 会 員				個人 20.6万人 (令和6年3月31日現在) 法人 7.8万法人				14. 血 液 事 業				施 設 数 47 169 (献血ルーム116を含む) 1 156万人 332万人 13万人 501万人 7 4 1 1,743万本 (令和6年3月31日現在) 761台 279台			
4. 評 議 員				2,004人				15. 社会福祉事業				児 童 福 祉 施 設 数 (定員) 3 (286) 3 (333) 1 (40) 8 (773) 1 (定員) (110) (100) (18) (10)			
5. 代 議 員				223人				16. 職員数 (施設数)				職 員 数 543人 689人 59,301人 5,775人 1,218人 67,526人			
6. 役 員				社 長 清家 篤 (常勤) 副 社 長 鈴木 俊彦 (常勤) 十倉 雅和 (非常勤) 理 事 61人 (常勤5人、非常勤56人) 監 事 3人 (常勤1人、非常勤2人)				17. 会 計 (令和6年度当初予算)				一 般 会 計 本 社 178億4千万円 支 部 190億1千万円 医 療 施 設 特 別 会 計 1兆2,159億6千万円 血 液 事 業 特 別 会 計 1,625億1千万円 社 会 福 祉 施 設 特 別 会 計 160億8千万円			
7. 青少年赤十字 (令和6年3月31日現在)				幼稚園・保育所等 1,759校 135,962人 小 学 校 7,095校 1,912,030人 中 学 校 3,465校 967,635人 高 等 学 校 1,734校 356,781人 特 別 支 援 学 校 222校 22,157人 そ の 他 141校 36,118人 計 14,416校 3,430,683人 指 導 者 281,583人											
8. 赤十字ボランティア (令和6年3月31日現在)				地域赤十字奉仕団 2,068団 785,324人 青年赤十字奉仕団 148団 5,277人 特殊赤十字奉仕団 615団 27,268人 個人ボランティア等 - 11,517人 計 2,831団 829,386人											
9. 救急法等の講習				資格登録者数 (令和6年3月31日現在) 受講者数 (令和5年度) 救 急 法 基 礎 講 習 10,859人 259,451人 39,813人 救 急 法 6,878人 136,548人 319,265人 水 上 安 全 法 1,511人 10,852人 43,488人 雪 上 安 全 法 216人 1,354人 491人 幼 児 安 全 法 2,254人 20,462人 62,330人 健康生活支援講習 1,664人 13,775人 43,954人 計 23,382人 442,442人 509,341人											
10. 看護師等の教育				施 設 数 一 学 年 養 成 定 員 大学 (大学院併設) 6 看護師 15校 1,115人 短期大学 1 助産師 6校 88人 看護専門学校 9 保健師 6校 154人 助産師学校 1 幹部看護師 1校 120人 幹部看護師研修センター 1 介護福祉士 1校 30人 計 18											
11. 国 際 活 動				国際救援・開発要員派遣 (令和5年度) 15カ国 のべ59人 国際赤十字・赤新月社連盟出向 2人(スイス、マレーシア) 国際活動費 (令和5年度) 77億1千万円											

(特に断りのない統計数字等は、令和6年4月1日現在)

# 日本赤十字社鹿児島県支部の現勢

令和7年4月1日 現在

## 1. 沿革

明治10(1877)年 5月 博愛社設立  
明治20(1887)年 5月 日本赤十字社と改称  
明治20(1887)年11月 日本赤十字社鹿児島地方委員会発足  
昭和27(1952)年 8月 日本赤十字社鹿児島県支部と改称

## 2. 役員

支部長 塩田 康一  
副支部長 大塚 大輔  
伊地知芳浩  
本社常任理事 森 博幸  
本社代議員 5 名  
監査委員 2 名  
評議員 40 名

## 3. 会員（協力会員等除く）

個人会員 1,013 人  
法人会員 898 社  
合計 1,911 人(社)

## 4. 青少年赤十字

指導者協議会会長 日高 京美

### 加盟校・園

区分	加盟学校(園)	メンバー(人)
幼稚園・保育園	37	2,287
認定こども園	16	1,533
小学校	246	42,990
中学校	98	19,238
高等学校	20	11,753
その他の学校	10	1,185
合計	427	78,986

## 5. 赤十字奉仕団

区分	委員長	団数(団)	団員数(人)
地域赤十字奉仕団	大迫 茂子	56	10,922
青年赤十字奉仕団	堀段 怜奈	1	11
赤十字アマチュア無線奉仕団	松木 孝生	1	287
赤十字安全奉仕団	岩屋 幹夫	1	136
青少年赤十字賛助奉仕団	針原 正弘	1	54
赤十字看護奉仕団	休止中		
計		60	11,410

## 6. 赤十字有功会

会長 松前 邦昭  
会員数 290 人(社)

## 7. 医療事業

施設	病院	1施設
診療科目		9科
内科・リウマチ科・循環器内科・ 呼吸器内科・整形外科・脳神経外科・麻酔科・ 放射線科・リハビリテーション科		
一般病床数		120床
医師数		16人
医療技師数		38人
看護師数		106人
車両の配置	救急車	1台
	災害救援車	1台

## 8. 血液事業

施設	血液センター・献血ルーム天文館・ 鹿屋供給出張所・川内供給出張所	
献血者数(人)		
成分献血	200mL献血	400mL献血
15, 198	511	43, 287
医 師 数	7人	
医 療 技 師 数	3人	
看 護 師 数	38人	
車両の配置	移 動 採 血 車	5台
	健 診 車	4台
	献 血 運 搬 車 ( 出 張 所 を 含 む )	21台

## 9. 社会福祉

施設	特別養護老人ホーム	1施設
入所定員数		80人
短期入所生活介護(ショートステイ)		2床
介護職員・看護師		51人

## 10. 救護・援護事業

常備救護班	8班
常備要員	48人
無線基地局・移動局	78局
災害救援車(地区分区配備含む)	71台
エアーテント	3基
フレーム式拡張テント	3張
テント(地区分区配備含む)	145張
災害物資保管庫等	71か所
炊出し用釜セット	73か所

## 11. 職員数

	職員数
鹿児島県支部事務局	15人
鹿児島赤十字病院	238人
鹿児島県赤十字血液センター	137人
特別養護老人ホーム錦江園	73人

## ○ 支 部 の 沿 革

明治 10(1877)年5月	博愛社創立
明治 20(1887)年 11月	日本赤十字社鹿児島地方委員会発足
25(1892)年 9月	日本赤十字社鹿児島県委員部を県庁内に設置
29(1896)年 7月	日本赤十字社鹿児島支部と改称
大正 12(1923)年12月	鹿児島郡中郡宇村郡元開院中の海濱院買収
昭和 12(1937)年11月	鹿児島市樋之口町に診療所開設
14(1939)年 5月	谷山町平川2545番地に病院移転、錦江療院と改称
20(1945)年 7月	戦災により支部社屋焼失
20(1945)年 9月	鹿児島市武町日本瓦斯ビル内に支部移転
23(1948)年 5月	鹿児島市郡元町に支部仮庁舎建設、瓦斯ビルより移転
24(1949)年 8月	鹿児島市郡元町支部構内に鹿児島診療所開設
26(1951)年 1月	同構内に支部新庁舎完成
27(1952)年 6月	錦江療院錫山出張診療所開設
27(1952)年 8月	日本赤十字社法制定、日本赤十字社鹿児島県支部と改称
33(1958)年 4月	錦江療院を錦江赤十字病院と改称、鹿児島診療所を病院附属とする。
40(1965)年 1月	鹿児島市下荒田町化学血清療法研究所鹿児島血液銀行内に鹿児島県赤十字血液センターを開設
42(1967)年 1月	支部構内に血液センター新社屋完成移転
43(1968)年 4月	錦江赤十字病院を鹿児島赤十字病院と改称、附属鹿児島診療所を支部郡元診療所と改称
45(1970)年 6月	県立大島病院内に血液センター名瀬出張所を開設、県立鹿屋病院内に血液センター鹿屋出張所を開設
49(1974)年 4月	支部郡元診療所閉鎖
49(1974)年 6月	特別養護老人ホーム錦江園を平川町赤十字病院敷地内に開設(定員50名)
50(1975)年12月	血液成分製剤の製造開始
52(1977)年11月	鹿児島市鴨池新町1番5号地に鹿児島県赤十字会館完成 支部事務局、血液センター移転
53(1978)年 3月	鹿児島赤十字病院火の河原出張診療所開設
53(1978)年 5月	鹿児島赤十字病院一般25室95床、結核17室75床に使用許可
55(1980)年 8月	血液センター鹿屋出張所閉鎖
55(1980)年 9月	血液センター名瀬出張所閉鎖
55(1980)年12月	ベトナム難民援護施設「赤十字垂水園」を垂水市に設置
56(1981)年 4月	鹿児島赤十字病院鹿児島広域市町村圏へき地中核病院に指定
56(1981)年 4月	血液センター献血者全員に検査サービス結果通知開始
56(1981)年 9月	鹿児島赤十字病院一般24室95床、結核15室75床に変更許可
57(1982)年 2月	血液センター供給室及び製剤室増改築完了
57(1982)年 3月	鹿児島赤十字病院一般病棟改築工事落成(鉄筋コンクリート、一部木造811㎡)
57(1982)年 4月	血液センター献血手帳の供給欄削除
57(1982)年 8月	鹿児島赤十字病院一般26室95床、結核15室75床に変更許可
58(1983)年 5月	赤十字看護婦像建立(日本赤十字社看護婦同方会鹿児島県支部)
58(1983)年 7月	鹿児島赤十字病院に新たに理学診療科、放射線科の2科を増設
59(1984)年 3月	血液センター車庫及び倉庫増築完了
60(1985)年 3月	錦江園研修宿泊施設及び15床、増築工事完成(定員70名に変更)
60(1985)年 8月	鹿児島赤十字病院一般29室120床、結核10室50床に変更許可

61(1986)年	2月	血液センター天文館出張所「献血ルーム・天文館」開設
61(1986)年	4月	血液センター400mL献血及び成分献血開始
61(1986)年	9月	血液センター採血室、検査室増築工事完成
62(1987)年	4月	特別養護老人ホーム錦江園短期入所生活介護(定員1床設置)
平成 元(1989)年	2月	鹿児島赤十字病院リウマチ検診車購入
元(1989)年	3月	ベトナム難民救護施設「赤十字垂水園」を閉鎖
元(1989)年	6月	血液センター業務をシステム化
2(1990)年	7月	鹿児島赤十字病院に新たに整形外科を増設
2(1990)年	11月	鹿児島赤十字病院増改築工事完成
3(1991)年	4月	血液センター血液凝固因子製剤製造用原料血漿の送付開始
4(1992)年	10月	鹿児島赤十字病院骨粗しょう検診車購入
4(1992)年	10月	鹿児島県支部創設百周年記念大会開催
5(1993)年	3月	『日赤鹿児島百年史』刊行
5(1993)年	8月	8・6豪雨災害で救護班8個班を派遣
6(1994)年	4月	鹿児島県支部事務局組織改正
7(1995)年	1月	阪神・淡路大震災で救護班2個班、赤十字防災ボランティア等を派遣(発災から同年3月までの間)
8(1996)年	5月	鹿児島赤十字病院エイズ治療協力病院指定
8(1996)年	10月	鹿児島赤十字病院に新たにリウマチ科増設、理学診療科をリハビリテーション科に変更
9(1997)年	3月	鹿児島赤十字病院、災害拠点病院(地域災害医療センター)指定
10(1998)年	2月	血液センター増改築工事(放射線照射室 他)
10(1998)年	6月	鹿児島赤十字病院検診棟完成
11(1999)年	5月	鹿児島赤十字病院に鹿児島県へき地遠隔医療システム導入
11(1999)年	7月	鹿児島県赤十字会館増改築工事着工
12(2000)年	3月	鹿児島赤十字病院、居宅介護支援事業所指定
12(2000)年	4月	特別養護老人ホーム錦江園介護老人福祉施設および居宅サービス(短期入所生活介護)事業所指定(事業所番号4670101114)
12(2000)年	8月	鹿児島県赤十字会館増改築工事竣工
12(2000)年	10月	鹿児島県悪石島地震災害へ救護班1個班を派遣
14(2002)年	6月	特別養護老人ホーム錦江園短期入所生活介護(定員1床増床)
14(2002)年	7月	赤十字病院「へき地医療拠点病院」指定(へき地中核病院の再編成)
15(2003)年	1月	鹿児島赤十字病院増改築工事(リハビリ棟 他)
15(2003)年	7月	鹿児島赤十字病院に新たに脳神経外科を増設、休止中の外科を廃止
15(2003)年	11月	鹿児島赤十字病院「保健文化賞」受賞(リウマチ膠原病・骨粗しょう症検診及び離島へき地診療による地域医療の貢献)
16(2004)年	3月	血液センターに新鮮凍結血漿の貯留保管のため供給課にプレハブフリーザー室を増設
16(2004)年	4月	鹿児島赤十字病院に新たに麻酔科を増設
〃		鹿児島赤十字病院、結核病棟(休床)
16(2004)年	7月	鹿児島赤十字病院「地域医療連携室」設置
16(2004)年	11月	新潟県中越地震災害へ救護班1個班、こころのケア要員2名を派遣
17(2005)年	3月	鹿児島赤十字病院「救急病院」認定

17(2005)年 4月	鹿児島赤十字病院 「特定診療科(眼科・耳鼻咽喉科・皮膚科)巡回診療」県から移管
17(2005)年 9月	台風14号災害で垂水市へ救護班2個班、防災ボランティア等を派遣
18(2006)年 3月	血液センター改修工事(1階採血施設に献血者問診室を設置)
18(2006)年 4月	鹿児島商船高速船事故へ救護班1個班を派遣
18(2006)年 7月	鹿児島県北部豪雨災害へ救護班1個班を派遣
〃	血液センター 「献血ルーム天文館」全面改修リニューアルオープン
18(2006)年 10月	血液センター 「献血者健康被害救済制度」開始
〃	血液センター 献血手帳を磁気型「献血カード」に変更
18(2006)年 11月	鹿児島赤十字病院 MRI室増築 稼動開始
19(2007)年 1月	血液センター 全ての血液製剤について保存前白血球除去開始 (一部製剤は先行実施)
19(2007)年 2月	血液センター 採血時初流血液除去を開始
19(2007)年 3月	鹿児島赤十字病院 医療安全推進室を設置
19(2007)年 4月	鹿児島赤十字病院 言語聴覚療法を開始
19(2007)年 11月	鹿児島赤十字病院 放射線撮影室増築工事、中央病棟増築工事完成 一般撮影装置増設、DEXA装置更新
〃	血液センター 九州ブロックにおける検査・製剤集約施設として「日本赤十字社九州血液センター」竣工
20(2008)年 1月	血液センター 検査業務を九州血液センターに集約
20(2008)年 3月	鹿児島赤十字病院 一般病棟入院基本料「7対1入院基本料」承認
〃	血液センター 医薬品製造業を廃止し、製剤業務を九州血液センターに集約(製剤業務の集約4/1付)
20(2008)年 4月	血液センター かもいけの血液センターを改修に併せ「献血プラザかもいけクロス」と名称変更し、リニューアルオープン 特別養護老人ホーム錦江園 介護老人福祉施設および居宅サービス(短期入所生活介護)事業所指定更新
20(2008)年 6月	鹿児島赤十字病院 病院機能評価認定病院(審査体制区分2:ver.5)認定
21(2009)年 3月	血液センター 生化学検査サービス項目のAST(GOT)検査に変え、GA(グリコアルブミン:糖尿病関連)検査導入
21(2009)年 3月	鹿児島赤十字病院 国道拡幅工事に伴う改修工事(リハビリ棟・重油タンク)
21(2009)年 4月	鹿児島赤十字病院 鹿児島県から災害派遣医療チーム(DMAT)指定病院として指定 血液センター 献血プラザかもいけクロス採血室の漏電による火災のため一時閉所
21(2009)年 7月	血液センター 献血プラザかもいけクロスリニューアルオープン
21(2009)年 10月	鹿児島赤十字病院 消防・防災ヘリコプター医師搭乗システム協力病院
22(2010)年 3月	鹿児島赤十字病院 鹿児島県から看護学生研修実習生控室(建物)の無償譲渡 鹿児島赤十字病院 錫山・火の河原出張診療所廃止
22(2010)年 7月	鹿児島赤十字病院 DPC対象病院として稼働開始
22(2010)年 10月	奄美大島豪雨災害へ救護班2個班を派遣

22(2010)年 11月	血液センター「ホリスティックヘルスプラザかごしま」オープン
22(2010)年 12月	鹿児島赤十字病院 電子カルテ・オーダーリングシステムの導入・稼働開始
23(2011)年 3月	東日本大震災で救護班5個班、こころのケア要員、病院・施設支援要員、ボランティア等を派遣(発災から同年8月までの間)
23(2011)年 8月	血液センター 鹿屋地区血液備蓄所(鹿屋富田薬品)及び曾於地区血液備蓄所(曾於郡医師会立病院)閉鎖
23(2011)年 9月	血液センター 鹿屋出張所開設
23(2011)年 11月	血液センター 川内地区血液備蓄所(アステム川内支店)閉鎖
23(2011)年 12月	血液センター 川内出張所開設
24(2012)年 3月	鹿児島赤十字病院 平成16年4月より休棟中の結核病床廃止(一般病床120床となる)
24(2012)年 4月	血液事業の広域運営体制開始 広域事業運営体制による血液センター組織改正
24(2012)年 8月	日本赤十字社鹿児島県支部120周年記念絵画・作文コンクール実施
24(2012)年 12月	日本赤十字社鹿児島県支部120周年記念改築工事(災害対策本部機能等改修工事)
25(2013)年 1月	「～献血ありがとう～いのちをつなぐ友の会」発足
〃	立体駐車場(3階4層:公用車含142台収容)完成
26(2014)年 1月	鹿児島城山ライオンズクラブから献血運搬車の寄贈を受ける
〃	特別養護老人ホーム錦江園 改築工事竣工(鉄筋コンクリート5階建て全ユニット型)
26(2014)年 2月	宮崎県串間市への血液供給を開始(県境を越えた供給)
26(2014)年 3月	鹿児島赤十字病院 新東棟竣工
26(2014)年 5月	血液事業情報システム供給部門導入
〃	血液事業情報システム本稼働
26(2014)年 6月	鹿児島・串木野・奄美の各海上保安部と「海上災害等における相互協力に関する協定」を50年振りに再締結
26(2014)年 11月	鹿児島赤十字病院 本館改修工事竣工
27(2015)年 1月	鹿児島赤十字病院 増改築工事落成祝賀会並びに設立90周年記念祝賀会举行
27(2015)年 2月	鹿児島県赤十字血液センター創立50周年記念式典举行
27(2015)年 3月	一般社団法人 日本血液製剤機構(JBPO)と日本赤十字社間の血漿分画製剤の販売提携終了
27(2015)年 5月	屋久島町口永良部島新岳噴火災害で救護班1個班、こころのケア要員等を派遣
27(2015)年 8月	鹿児島赤十字病院 永井慎昌医師「第67回保健文化賞」受賞
〃	米盛庄司代議員より、支部事務局へ机、イス寄贈
27(2015)年 12月	医療機関での赤血球製剤抗原検索システム開始
28(2016)年 2月	「献血ルーム天文館」開設30周年記念キャンペーン開催
28(2016)年 4月	血液事業本部 生化学検査のALT基準値変更と抗原陰性血の確認検査廃止
〃	熊本地震災害で医療救護班4個班、災害対策本部支援要員等を派遣(発災から同年6月までの間)
28(2016)年 7月	鹿児島県赤十字血液センターの固定施設の定休日を変更 (献血プラザかもいけクロス:木曜定休、献血ルーム天文館:金曜定休)
28(2016)年 9月	血液事業本部 照射洗浄血小板-LR「日赤」販売開始
29(2017)年 3月	鹿児島城西ロータリークラブ及び鹿児島サザンウインドロータリークラブから血液センターへ献血運搬車の寄贈
〃	鹿児島県赤十字血液センターの加世田地区血液備蓄所(富田薬品南薩営業所)、大口地区血液備蓄所(山口長生堂薬局)及び出水地区血液備蓄所(出水総合医療センター)閉鎖

29(2017)年 4月	特別養護老人ホーム錦江園 10床増床(定員80名に変更)
29(2017)年 7月	日本赤十字社鹿児島県支部125周年記念改築工事(救援物資保管倉庫改修)
29(2017)年 9月	日本赤十字社創立140周年・日本赤十字社鹿児島県支部創立125周年記念表彰式及び講演会を開催
〃	日本赤十字社鹿児島県支部125周年記念赤十字ふれ愛親子防災教室を開催
〃	国分地区血液備蓄所(アトル国分支店)閉鎖
29(2017)年 12月	指宿地区血液備蓄所(国立病院機構指宿医療センター)閉鎖
30(2018)年 3月	阿久根地区血液備蓄所(出水郡医師会立阿久根市民病院)、大島地区血液備蓄所(九州東邦大島営業所)閉鎖
30(2018)年 7月	平成30年7月豪雨災害で岡山県へ支部災害対策本部支援要員を派遣
31(2019)年 3月	種子島地区血液備蓄所(種子島医療センター)閉鎖
31(2019)年 4月	鹿児島城山ライオンズクラブ及び鹿児島明倫ライオンズクラブから血液センターへ献血運搬車の寄贈
令和 元(2019)年 8月	令和元年8月豪雨災害で佐賀県へ救護班1個班を派遣
2(2020)年 7月	鹿児島赤十字病院 県の要請を受け新型コロナウイルス感染者の入院受入を開始
〃	令和2年7月豪雨災害で熊本県へ支部職員1名を派遣
2(2020)年 8月	新型コロナウイルス感染症対応で鹿児島県広域医療調整本部及び宿泊療養施設等へ職員を派遣
3(2021)年 3月	沖電気工業株式会社から血液センターへ献血運搬車の寄贈
3(2021)年 10月	鹿児島県医師会、鹿児島県歯科医師会、鹿児島県薬剤師会、鹿児島県看護協会から血液センターへ献血推進車の寄贈
〃	鹿児島南洲ライオンズクラブ及び鹿児島ライオンズクラブから血液センターへ献血輸送車の寄贈
3(2021)年 12月	震度5強の地震を観測した悪石島に鹿児島赤十字病院看護師及び支部事務局職員計2名を派遣
4(2022)年 7月	桜島の噴火警戒レベルが5に引き上げられたことに伴い、支部災害対策本部要員が県赤十字会館に参集するとともに、県庁に連絡調整員を1名派遣
4(2022)年 9月	アプリ版献血カード及び事前WEB問診回答の運用開始
〃	日本赤十字社鹿児島県支部創立130周年事業 ～災害の記憶展～ を実施
5(2023)年 1月	青少年赤十字創設100周年・県支部創立130周年記念作文・絵画コンクールを実施
5(2023)年 3月	3月13日採血分(3月15日製造分)から赤血球製剤の有効期限が21日から28日に延長
5(2023)年 5月	献血プラザかもいけクロス・献血ルーム天文館での全献血協力者への体重測定開始
5(2023)年 9月	献血バスでの全献血協力者への体重測定開始
5(2023)年 12月	鹿児島赤十字病院 創立100周年
〃	鹿児島赤十字病院 120床全床急性期病床から、急性期80床、地域包括ケア病床40床へ病床機能を変更許可
6(2024)年 1月	鹿児島城山ライオンズクラブ及び鹿児島明倫ライオンズクラブから血液センターへ献血運搬車の寄贈
6(2024)年 2月	献血同意書に血漿分画製剤の海外輸出に関する項目が追加
〃	「献血ルーム・天文館」リニューアル・オープン(同年2月8日から一時閉鎖)
6(2024)年 1月	令和6年能登半島地震で救護班2個班及び災害医療コーディネートチーム1チームを派遣(発災から同年2月までの間)
6(2024)年 2月	令和6年能登半島地震で鹿児島赤十字病院からDMAT隊員4名を派遣
6(2024)年 6月	特別養護老人ホーム錦江園 創立50周年
7(2025)年 3月	公益財団法人JKAから献血運搬車の寄贈



## 赤 十 字 標 語 一 覧

1973年(昭48)	あなたとあなたの世界に赤十字
1974年(昭49)	いのちを守る赤十字！(救急法, 水上安全法, 家庭看護法の普及)
1975年(昭50)	赤十字: 危急のときのいのち綱
1976年(昭51)	行動する赤十字
1977年(昭52)	人の和を世界に広げる赤十字
1978年(昭53)	参加しよう赤十字
1979年(昭54)	愛に手で世界を結ぶ赤十字
1980年(昭55)	赤十字: みんなのためにどこにでも
1981年(昭56)	あなたとともに赤十字
1982年(昭57)	あなたの身近に赤十字
1983年(昭58)	とっさの手当がいのちを守る！覚えよう救急法
1984年(昭59)	人道を通じて平和へ
1985年(昭60)	あなたの若さを一赤十字
1986年(昭61)	いのちを救う愛の献血一赤十字
1987年(昭62)	幼い生命に愛の手を一赤十字
1988年(昭63)	伝統を明日への力に一赤十字
1989年(平成元)	愛の手を世界に広げる赤十字
1990年(平成2)	守ろう！人のいのちと尊さを
1991年(平成3)	救おう！災禍にあえぐ人々を
1992年(平成4)	災害に備えて守る尊い生命一赤十字
1993年(平成5)	すべての人々に人間の尊厳を
}	
2000年(平成12)	全ての人々に人間の尊厳を
2001年(平成13)	人道は限りない力
}	
2004年(平成16)	守ろう人間の尊さを
}	
2008年(平成20)	人間を救うのは、人間だ。Together for humanity
}	
2012年(平成24)	人間を救うのは、人間だ。Our world. Your move.
}	

